検算者	設計者

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第2工区)		
工事場所	酒田市 東町一丁目 地内ほか		
発注者	庄内広域水道企業団	工事概要 舗装工事 【東町一丁目地内ほか】 ・舗装工 表層工　A＝9,281㎡ ・区画線工　一式	
設計区分	実施設計書		
受注者			
工事期間	～　令和 9年 1月 22日		
工事日数			
部課名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

工　事　設　計　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事	舗装工事							場所区分:市街地(DID補正)
		舗装工事（東町一丁目地内）		式	1			
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
本工事	舗装工事							場所区分:市街地(DID補正)
		舗装工事（駅東一丁目地内ほか）		式	1			
	直接工事費計							
	共通仮設費計							

工　事　設　計　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
本工事	舗装工事							場所区分:一般交通影響有り（２）
		舗装工事（大槻新田地内）		式	1			
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								

工　事　設　計　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事	舗装工事							場所区分:市街地(DID補正)
		舗装工事（緑ヶ丘一丁目・二丁目地内）		式	1			
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								

工　事　設　計　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
工事原価計								
	一般管理費			式	1			
	契約保証費			式	1			
工事価格								
消費税等相当額				式	1			
本工事費計								

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事費	舗装工事					週休２日 月 単 位	労務費　1.02	場所区分:市街地(DID補正)
	舗装工事（東町一丁目地内）			式	1			
		舗装工		式	1			第　1号明細書
		仮設工		式	1			第　2号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
	共通仮設費			式	1			
	純工事費							
	現場管理費			式	1			
工事原価								
	一般管理費		(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
合計額								

第　1号　　1式当たり　　明細書

舗装工

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断		m	970			第　1号単価表
舗装版破砕		㎡	1,570			第　2号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬	L=3.9km	㎥	168			第　3号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分		㎥	168			第　4号単価表
舗装切断排水処分		㎥	1			第　5号単価表
舗装切断排水運搬	L=11.3km	t	1.4			第　6号単価表
床掘り		㎥	53			第　7号単価表
土砂等運搬	L=13.7km	㎥	53			第　8号単価表
残土処分		㎥	53			第　9号単価表
不陸整正	補足材料無し	㎡	1,570			第　10号単価表
上層路盤（基層）	瀝青安定処理材(40)、1.4m以上3.0m以下、7cm、ﾌﾟﾗｲﾑ	㎡	1,570			第　11号単価表
表層工	再生密粒度As20F、1.4m以上3.0m以下、7cm、ﾀｯｸｺｰﾄ	㎡	1,570			第　12号単価表
区画線工	止まれ、矢印・記号・文字15cm換算	m	45			第　13号単価表

第　1号　　1式当たり　　明細書

舗装工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
区画線工	停止線、実線 30cm	m	9			第　14号単価表
区画線工	外側線、実線 15cm	m	5			第　15号単価表
計						

第　2号　　1式当たり　　明細書

仮設工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通管理工		人	44			第　16号単価表
計						

第　1号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下					
計						

第　2号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第　3号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬

L=3.9km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下)、有り、6.	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:6.0km以下					
計						

第　4号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処分費	(酒井鈴木工業)	㎥	1			
計						

第　5号　　1㎥当たり　　単価表

舗装切断排水処分

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
建設汚泥処分費	ﾊﾞｷｭｰﾑ車による搬入 含水率85%以上のもの(安藤組)	㎥	1			
計						

第　6号　　1ｔ当たり　　単価表

舗装切断排水運搬

L=11.3km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t、有り	t	1			
	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):11.5km以下					
計						

第　7号　　1㎥当たり　　単価表

床掘り

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第　8号　　1㎥当たり　　単価表

土砂等運搬

L=13.7km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土砂等運搬	標準、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉	㎥	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:17.5km以下					
計						

第　9号　　1㎥当たり　　単価表

残土処分

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
残土処理費	㈲連枝砂利	㎥	1			
計						

第　10号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

補足材料無し

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
不陸整正	無し	㎡	1			
	補足材料の有無:無し					
計						

第　11号　　1㎡当たり　　単価表

上層路盤（基層）

瀝青安定処理材(40)、1.4m以上3.0m以下、7cm、ﾌﾟﾗｲﾑ

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
上層路盤（車道・路肩部）	瀝青安定処理材(40)、1.4m以上3.0m以下、7cm、ﾌﾟﾗｲﾑ	㎡	1			
	材料:瀝青安定処理材(40) 平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:実数入力					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　12号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度As20F、1.4m以上3.0m以下、7cm、ﾀｯｸｺｰﾄ

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下、7cm、各種(2.30以上2.40t/m3	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4					
計						

第　13号　　1m当たり　　単価表

区画線工

止まれ、矢印・記号・文字15cm換算

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　17号単価表
計						

第　14号　　1m当たり　　単価表

区画線工

停止線、実線 30cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　18号単価表
計						

第　15号　　1m当たり　　単価表

区画線工

外側線、実線 15cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　19号単価表
計						

第　16号　　1人当たり　　単価表

交通管理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人				
計						

第　17号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動)矢印記号文字15cm換算 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	100			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

第　18号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 除豪雪地	溶融式(手動) 実線 30cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	780			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	50			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	50			
軽　油	1.2号	ℓ	65			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

第　19号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動) 実線 15cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	40			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事費	舗装工事					週休２日 月 単 位	労務費　1.02	場所区分:市街地(DID補正)
	舗装工事（駅東一丁目地内ほか）			式	1			
		舗装工		式	1			第　1号明細書
		仮設工		式	1			第　2号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
	共通仮設費			式	1			
	純工事費							
	現場管理費			式	1			
工事原価								
	一般管理費		(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
合計額								

第　1号　　1式当たり　　明細書

舗装工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断		m	480			第　1号単価表
舗装版破砕		㎡	1,330			第　2号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬	L=4.0km	㎥	95			第　3号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分		㎥	95			第　4号単価表
舗装切断排水処分		㎥	0.5			第　5号単価表
舗装切断排水運搬	L=13.8km	t	0.7			第　6号単価表
不陸整正	補足材料無し	㎡	408			第　7号単価表
不陸整正	補足材料あり、t=30mm、RC-40	㎡	926			第　8号単価表
表層工	再生密粒度As13F、1.4m以上3.0m以下、5cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	㎡	1,330			第　9号単価表
区画線工	止まれ、矢印・記号・文字15cm換算	m	34			第　10号単価表
区画線工	外側線、実線 15cm	m	12			第　11号単価表
計						

第　2号　　1式当たり　　明細書

仮設工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通管理工		人	26			第　12号単価表
計						

第　1号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下					
計						

第　2号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第　3号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬

L=4.0km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下)、有り、6.	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:6.0km以下					
計						

第　4号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処分費	(酒井鈴木工業)	㎥	1			
計						

第　5号　　1㎥当たり　　単価表

舗装切断排水処分

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
建設汚泥処分費	ﾊﾞｷｭｰﾑ車による搬入 含水率85%以上のもの(安藤組)	㎥	1			
計						

第　6号　　1ｔ当たり　　単価表

舗装切断排水運搬

L=13.8km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t、有り	t	1			
	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):14.0km以下					
計						

第　7号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

補足材料無し

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
不陸整正	無し	㎡	1			
	補足材料の有無:無し					
計						

第　8号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

補足材料あり、t=30mm、RC-40

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
不陸整正	有り、28mm以上34mm未満	㎡	1			
	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:28mm以上34mm未満					
計						

第　9号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度As13F、1.4m以上3.0m以下、5cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下、5cm、各種(2.30以上2.40t/m3	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　10号　　1m当たり　　単価表

区画線工

止まれ、矢印・記号・文字15cm換算

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　13号単価表
計						

第　11号　　1m当たり　　単価表

区画線工

外側線、実線 15cm

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　14号単価表
計						

第　12号　　1人当たり　　単価表

交通管理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人				
計						

第　13号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動)矢印記号文字15cm換算 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	100			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

第　14号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動) 実線 15cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	40			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事費	舗装工事					週休２日 月 単 位	労務費　1.02	場所区分:一般交通影響有り（２）
	舗装工事（大槻	新田地内）		式	1			
		舗装工		式	1			第　1号明細書
		仮設工		式	1			第　2号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
	共通仮設費			式	1			
	純工事費							
	現場管理費			式	1			
工事原価								
	一般管理費		(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
合計額								

第　1号　　1式当たり　　明細書

舗装工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断		m	740			第　1号単価表
舗装版破砕		m²	1,280			第　2号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬	L=9.9km	m³	64			第　3号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分		m³	64			第　4号単価表
舗装切断排水処分		m³	0.7			第　5号単価表
舗装切断排水運搬	L=8.8km	t	1			第　6号単価表
不陸整正	補足材料無し	m²	1,280			第　7号単価表
表層工	再生密粒度As13F、1.4m以上3.0m以下、5cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	m²	1,280			第　8号単価表
区画線工	停止線、実線 15cm	m	4			第　9号単価表
区画線工	外側線、実線 15cm	m	694			第　10号単価表
計						

第　2号　　1式当たり　　明細書

仮設工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通管理工		人	29			第　11号単価表
計						

第　1号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下					
計						

第　2号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第　3号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬

L=9.9km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下)、有り、10	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:10.5km以下					
計						

第　4号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処分費	(酒井鈴木工業)	㎥	1			
計						

第　5号　　1㎥当たり　　単価表

舗装切断排水処分

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
建設汚泥処分費	ﾊﾞｷｭｰﾑ車による搬入 含水率85%以上のもの(安藤組)	㎥	1			
計						

第　6号　　1ｔ当たり　　単価表

舗装切断排水運搬

L=8.8km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t、無し	t	1			
	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:無し 片道運搬距離(km):11.0km以下					
計						

第　7号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

補足材料無し

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
不陸整正	無し	㎡	1			
	補足材料の有無:無し					
計						

第　8号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度As13F、1.4m以上3.0m以下、5cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　9号　　1m当たり　　単価表

区画線工

停止線、実線 15cm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第 12号単価表
計						

第　10号　　1m当たり　　単価表

区画線工

外側線、実線 15cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　12号単価表
計						

第　11号　　1人当たり　　単価表

交通管理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人				
計						

第　12号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動) 実線 15cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	40			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事費	舗装工事					週休２日 月 単 位	労務費　1.02	場所区分:市街地(DID補正)
	舗装工事（緑ヶ丘一丁目・二丁目地内）			式	1			
		舗装工		式	1			第　1号明細書
		仮設工		式	1			第　2号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
	共通仮設費			式	1			
	純工事費							
	現場管理費			式	1			
工事原価								
	一般管理費		(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
合計額								

第　1号　　1式当たり　　明細書

舗装工

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断		m	2,340			第　1号単価表
舗装版破砕		㎡	5,100			第　2号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬	L=2.8km	㎥	248			第　3号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分		㎥	248			第　4号単価表
舗装切断排水処分		㎥	2.3			第　5号単価表
舗装切断排水運搬	L=15.2km	t	3.3			第　6号単価表
床掘り		㎥	11			第　7号単価表
土砂等運搬	L=16.8km	㎥	11			第　8号単価表
残土処分		㎥	11			第　9号単価表
不陸整正	補足材料無し	㎡	5,100			第　10号単価表
表層工	再生密粒度As13F、1.4m以上3.0m以下、5cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	㎡	4,800			第　11号単価表
表層工	再生密粒度As20F、1.4m以上3.0m以下、7cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	㎡	247			第　12号単価表
表層工	再生細粒度As13、1.4m以上3.0m以下、3cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	㎡	49			第　13号単価表

第　1号　　1式当たり　　明細書

舗装工

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層工	再生細粒度As13、1.4m未満、3cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	㎡	5			第　14号単価表
区画線工	止まれ、矢印・記号・文字15cm換算	m	84			第　15号単価表
区画線工	停止線、実線 30cm	m	18			第　16号単価表
区画線工	中央線、破線 15cm	m	141			第　17号単価表
区画線工	ドットライン、破線 30cm	m	3			第　18号単価表
計						

第　2号　　1式当たり　　明細書

仮設工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通管理工		人	95			第　19号単価表
計						

第　1号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下					
計						

第　2号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第　3号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻運搬

L=2.8km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下)、有り、3.	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:3.5km以下					
計						

第　4号　　1㎥当たり　　単価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処分費	(酒井鈴木工業)	㎥	1			
計						

第　5号　　1㎥当たり　　単価表

舗装切断排水処分

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
建設汚泥処分費	ﾊﾞｷｭｰﾑ車による搬入 含水率85%以上のもの(安藤組)	㎥	1			
計						

第　6号　　1ｔ当たり　　単価表

舗装切断排水運搬

L=15.2km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t、有り	t	1			
	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):17.0km以下					
計						

第　7号　　1㎥当たり　　単価表

床掘り

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第　8号　　1㎥当たり　　単価表

土砂等運搬

L=16.8km

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土砂等運搬	標準、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉	㎥	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:17.5km以下					
計						

第　9号　　1㎥当たり　　単価表

残土処分

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
残土処理費	㈲連枝砂利	㎥	1			
計						

第　10号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

補足材料無し

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
不陸整正	無し	㎡	1			
	補足材料の有無:無し					
計						

第　11号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度As13F、1.4m以上3.0m以下、5cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下、5cm	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　12号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度As20F、1.4m以上3.0m以下、7cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下、7cm	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　13号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生細粒度As13、1.4m以上3.0m以下、3cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層（歩道部）	1.4m以上、3cm	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　14号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生細粒度As13、1.4m未満、3cm、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
表層（歩道部）	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、3cm	㎡	1			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　15号　　1m当たり　　単価表

区画線工

止まれ、矢印・記号・文字15cm換算

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　20号単価表
計						

第　16号　　1m当たり　　単価表

区画線工

停止線、実線 30cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	実線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　21号単価表
計						

第　17号　　1m当たり　　単価表

区画線工

中央線、破線 15cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	破線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　22号単価表
計						

第　18号　　1m当たり　　単価表

区画線工

ドットライン、破線 30cm

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有	破線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	1			第　23号単価表
計						

第　19号　　1人当たり　　単価表

交通管理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人				
計						

第　20号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動)矢印記号文字15cm換算 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	100			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

第　21号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

実線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動) 実線 30cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	780			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	50			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	50			
軽　油	1.2号	ℓ	65			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

第　22号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

破線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動) 破線 15cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	44			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

第　23号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正有

破線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
区画線工 昼間 豪雪地	溶融式(手動) 破線 30cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	780			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	50			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	50			
軽　油	1.2号	ℓ	73			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

使用材料の塗料,ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ,ﾌﾟﾗｲﾏｰはロス分を含む数量である。
諸雑費は,ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ,希釈剤等の費用である。

（別紙）

「積算に関する条件明示書」

（東町一丁目地内）

明 示 項 目		明 示 事 項 （ 条件及び内容 ）			
Ⅰ 単価適用日		令和8年6月1日		（必須）	
Ⅱ 適用する土木工事標準積算基準書		国土交通省標準歩掛Ⅰ	令和7年10月1日以降適用	（必須）	
				（必須）	
				（必須）	
Ⅲ 工種区分		舗装工事	（必須）		
Ⅳ 週休2日経費補正		○なし ●あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領による月単位の週休2日		
Ⅴ 共通仮設費の補正		○なし ●あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
		市街地（DID補正）（1）			
Ⅵ 現場管理費の補正		●なし ○あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
		○なし ●あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
		市街地（DID補正）（1）			
Ⅶ 歩掛の補正		●なし ○あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
Ⅷ 指定仮設		●なし ○あり			
	図面	●なし ○あり	指定仮設に関する図面の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
Ⅸ 任意仮設		○なし ●あり			
	図面	●なし ○あり	任意仮設に関する参考図の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
	交通誘導警備員A	●なし ○あり	配置人数		
	交通誘導警備員B	○なし ●あり	配置人数	44人	
	ポンプ排水	●なし ○あり	運転日数		
	工事用除雪	●なし ○あり	地域区分		
	その他		）		
Ⅸ その他					

入札参加者への留意事項

※① 本書に記載する『別添（参考資料）』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。

※② 本書並びに別添（参考資料）の有効期間については、この工事の入札日までとする。

※③ 本書、別添（参考資料）並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第１条第３項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。

※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添（参考資料）に基づくものとし、別添（参考資料） を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。

※⑤ 本書及び別添（参考資料）は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。

※⑥ 原則として、本書並びに別添（参考資料）以外の積算条件に関する質問には、回答できません。
特に「Ⅲ　各種経費等の補正」の補正値と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

（別紙）

「積算に関する条件明示書」

（駅東一丁目地内）

明 示 項 目		明 示 事 項（ 条件及び内容 ）			
Ⅰ 単価適用日		令和8年6月1日		（必須）	
Ⅱ 適用する土木工事標準積算基準書		国土交通省標準歩掛Ⅰ	令和7年10月1日以降適用	（必須）	
				（必須）	
				（必須）	
Ⅲ 工種区分		舗装工事	（必須）		
Ⅳ 週休2日経費補正		○なし ●あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領による月単位の週休2日		
Ⅴ 共通仮設費の補正		○なし ●あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
		市街地（DID補正）（1）			
Ⅵ 現場管理費の補正		●なし ○あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
		○なし ●あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
		市街地（DID補正）（1）			
Ⅶ 歩掛の補正		●なし ○あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
Ⅷ 指定仮設		●なし ○あり			
	図面	●なし ○あり	指定仮設に関する図面の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
Ⅸ 任意仮設		○なし ●あり			
	図面	●なし ○あり	任意仮設に関する参考図の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
	交通誘導警備員A	●なし ○あり	配置人数		
	交通誘導警備員B	○なし ●あり	配置人数	26人	
	ポンプ排水	●なし ○あり	運転日数		
	工事用除雪	●なし ○あり	地域区分		
	その他		）		
Ⅸ その他					

入札参加者への留意事項

※① 本書に記載する『別添（参考資料）』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。

※② 本書並びに別添（参考資料）の有効期間については、この工事の入札日までとする。

※③ 本書、別添（参考資料）並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第１条第３項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。

※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添（参考資料）に基づくものとし、別添（参考資料） を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。

※⑤ 本書及び別添（参考資料）は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。

※⑥ 原則として、本書並びに別添（参考資料）以外の積算条件に関する質問には、回答できません。
特に「Ⅲ　各種経費等の補正」の補正値と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

（別紙）

「積算に関する条件明示書」

（大槻新田地内）

明 示 項 目		明 示 事 項（ 条件及び内容 ）			
Ⅰ 単価適用日		令和8年6月1日		（必須）	
Ⅱ 適用する土木工事標準積算基準書		国土交通省標準歩掛Ⅰ	令和7年10月1日以降適用	（必須）	
				（必須）	
				（必須）	
Ⅲ 工種区分		舗装工事	（必須）		
Ⅳ 週休2日経費補正		○なし ●あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領による月単位の週休2日		
Ⅴ 共通仮設費の補正		○なし ●あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
		一般交通影響有り（2）			
Ⅵ 現場管理費の補正		●なし ○あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
		○なし ●あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
		一般交通影響有り（2）			
Ⅶ 歩掛の補正		●なし ○あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
Ⅷ 指定仮設		●なし ○あり			
	図面	●なし ○あり	指定仮設に関する図面の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
Ⅸ 任意仮設		○なし ●あり			
	図面	●なし ○あり	任意仮設に関する参考図の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
	交通誘導警備員A	●なし ○あり	配置人数		
	交通誘導警備員B	○なし ●あり	配置人数	29人	
	ポンプ排水	●なし ○あり	運転日数		
	工事用除雪	●なし ○あり	地域区分		
	その他		）		
Ⅸ その他					

入札参加者への留意事項

※① 本書に記載する『別添（参考資料）』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。

※② 本書並びに別添（参考資料）の有効期間については、この工事の入札日までとする。

※③ 本書、別添（参考資料）並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第１条第３項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。

※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添（参考資料）に基づくものとし、別添（参考資料） を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。

※⑤ 本書及び別添（参考資料）は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。

※⑥ 原則として、本書並びに別添（参考資料）以外の積算条件に関する質問には、回答できません。
特に「Ⅲ　各種経費等の補正」の補正値と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

（別紙）

「積算に関する条件明示書」

（緑ヶ丘一丁目・二丁目地内）

明 示 項 目		明 示 事 項（ 条件及び内容 ）			
Ⅰ 単価適用日		令和8年6月1日		（必須）	
Ⅱ 適用する土木工事標準積算基準書		国土交通省標準歩掛Ⅰ	令和7年10月1日以降適用	（必須）	
				（必須）	
				（必須）	
Ⅲ 工種区分		舗装工事	（必須）		
Ⅳ 週休2日経費補正		○なし ●あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領による月単位の週休2日		
Ⅴ 共通仮設費の補正		○なし ●あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
		市街地（DID補正）（1）			
Ⅵ 現場管理費の補正		●なし ○あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
		○なし ●あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
		市街地（DID補正）（1）			
Ⅶ 歩掛の補正		●なし ○あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
Ⅷ 指定仮設		●なし ○あり			
	図面	●なし ○あり	指定仮設に関する図面の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
Ⅸ 任意仮設		○なし ●あり			
	図面	●なし ○あり	任意仮設に関する参考図の有無		
	土質	●なし ○あり	土質に関するデータの有無（柱状図等）		
	水位	●なし ○あり	水位に関するデータの有無		
	交通誘導警備員A	●なし ○あり	配置人数		
	交通誘導警備員B	○なし ●あり	配置人数	95人	
	ポンプ排水	●なし ○あり	運転日数		
	工事用除雪	●なし ○あり	地域区分		
	その他		）		
Ⅸ その他					

入札参加者への留意事項

※① 本書に記載する『別添（参考資料）』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。

※② 本書並びに別添（参考資料）の有効期間については、この工事の入札日までとする。

※③ 本書、別添（参考資料）並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第１条第３項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。

※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添（参考資料）に基づくものとし、別添（参考資料） を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。

※⑤ 本書及び別添（参考資料）は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。

※⑥ 原則として、本書並びに別添（参考資料）以外の積算条件に関する質問には、回答できません。
特に「Ⅲ　各種経費等の補正」の補正値と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

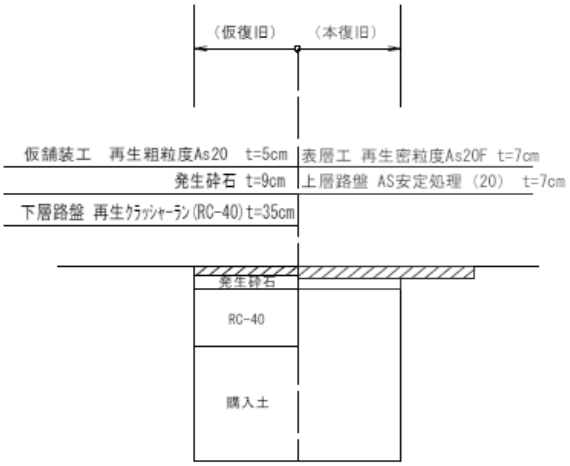
舗装復旧工数量集計表　　実施

上段:実施設計
下段:変更設計

工　種	名　称	規　格	A-1～A-3 市道 3-4-7-35			計	あらため数量	備　考
舗装撤去工	舗装版切断	15cm以下	970.4			970.4	970 m	10m単位 100m未満は1m
							m	
	舗装版破砕	BH掘削積込 0.45m3 15cm以下 騒音対策不要	1,574.9			1,574.9	1570 m2	10㎡単位 100㎡未満は1㎡
							㎡	
	Ａｓ殻運搬工	BH0.45m3 DT10t L=3.9km DID有り	167.5			167.5	168 m3	1m3
							m3	
	Ａｓ殻処分	酒井鈴木工業㈱	167.5			167.5	168 m3	1m3
							m3	
	舗装切断排水処分	㈱安藤組	0.97			1.0	1.0 m3	
							m3	
	舗装切断排水運搬工	現場発生品運搬 2t級2.9t吊 L=11.3km DID有り	1.36			1.4	1.4 t	
							t	
土工	床掘り	BH0.45m3	53.0			53.0	53 m3	100㎥単位 1,000㎥未満は10㎥ 100㎥未満は1㎥
							m3	
	土砂等運搬	BH0.45m3 L=13.7km DID有り	53.0			53.0	53 m3	10㎥単位 100㎥未満は1㎥
							m3	
	残土処分工	(有)連枝砂利	53.0			53.0	53 m3	10㎥単位 100㎥未満は1㎥
							m3	
路盤工	不陸整正	補足材なし	1,574.9			1,574.9	1570 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
							m2	
	上層路盤工（基層）	安定処理 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=7cm プライムコート	1,574.9			1,574.9	1570 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
							m2	
舗装工	表層工	再生密粒度As20F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=7cm タックコート	1,574.9			1,574.9	1570 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
区画線工	止まれ 溶融式(手動)	文字･15cm換算、白色 塗布厚1.0mm	44.8			44.8	45 m	1m
							m	
	停止線 溶融式(手動)	実線・W=30cm、白色 塗布厚1.0mm	9.0			9.0	9 m	1m
	外側線 溶融式(手動)	実線・W=15cm、白色 塗布厚1.0mm	4.8			4.8	5 m	1m

舗装工	A-1～A-3	東町一丁目地内	実施

市道（3-4-7-35）
再生密粒度As20F

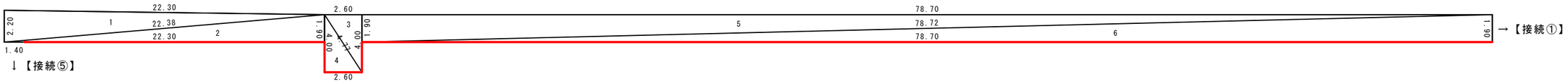


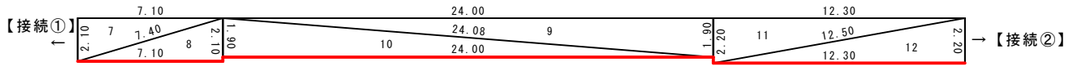
仮舗装面積の合計　589.14

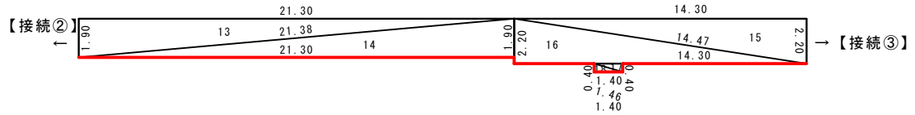
既設舗装厚 t=14.0cm

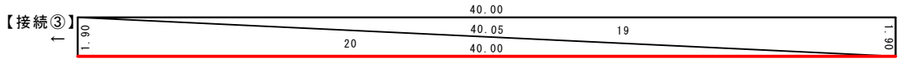
名　称	形状寸法	計　算	数　量	
舗装版切断工	t≦15cm	479.90 + 254.80 + 235.70 = 970.40 A-1 A-2 A-3	970.4	m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	836.60 + 389.28 + 349.00 = 1574.88 A-1 A-2 A-3	1574.9	m2
As殻処分工 （既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(1574.88 − 589.14) × 0.140 全体 仮舗装面積 既設舗装厚さ	138.0	m3
As殻処分工 （仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	589.14 × 0.050 仮舗装 仮舗装厚さ	29.5	m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 3.9km	138.0 ＋ 29.5 既設舗装 仮舗装	167.5	m3
舗装切断排水処分	11.3km 安藤組(庄内町)	970.40 × 0.001	0.97	m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	0.97 × 1.400	1.36	t
床掘り	BH0.45m3	589.14 × 0.09	53.0	m³
土砂等運搬	DID有り BH0.45m3	589.14 × 0.09	53.0	m³
残土処分工	土砂、13.7km (有)連枝砂利	589.14 × 0.09	53.0	m³
不陸整正	補足材なし	1574.88	1574.9	m2
1.4m以上3.0m以下 上層路盤工（基層）	安定処理 t=7cm	1574.88 PK-3	1574.9	m2
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As20F t=7cm	1574.88 PK-4	1574.9	m2
区画線工 （止まれ）	溶融式・15cm換算 白色　文字	（ 止 5.60 ま 6.75 れ 7.26 ） （箇所数） × 3.00 × 2.00 × 2.00	44.8	m
区画線工 （停止線）	溶融式、W=30cm 白色、実線	停止線 別紙より 9.00	9.0	m
区画線工 （外側線）	溶融式、W=15cm 白色、実線	4.80 別紙より	4.8	m

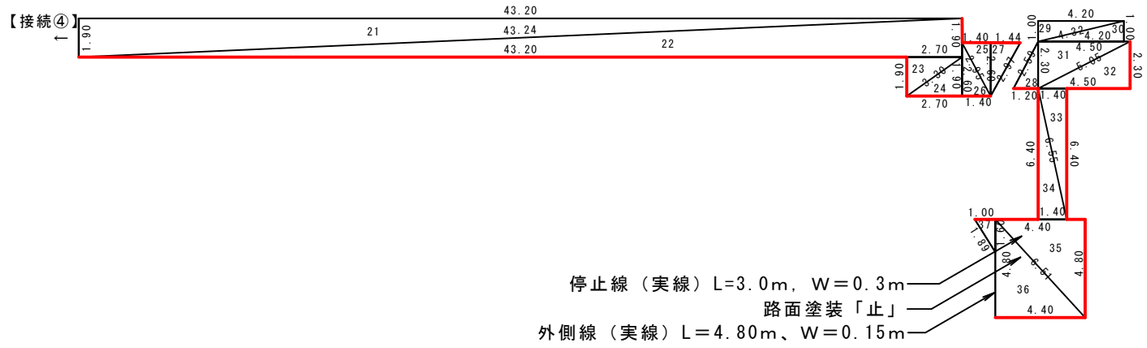
A-1路線：市道 東町一丁目1号線（車道部） 1：300











A-１路線：市道（車道部3-4-7-35）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	2.20	22.30	22.38	24.5280
2	22.30	22.38	1.90	21.1850
3	2.60	4.00	4.77	5.2000
4	2.60	4.00	4.77	5.2000
5	1.90	78.70	78.72	74.7649
6	78.70	78.72	1.90	74.7649
7	2.10	7.10	7.40	7.4550
8	7.10	7.40	2.10	7.4550
9	24.00	1.90	24.08	22.7999
10	24.00	1.90	24.08	22.7999
11	2.20	12.30	12.50	13.5300
12	12.30	12.50	2.20	13.5300
13	1.90	21.30	21.38	20.2349
14	21.30	21.38	1.90	20.2349
15	14.30	2.20	14.47	15.7300
16	14.30	2.20	14.47	15.7300
17	1.40	0.40	1.46	0.2800
18	1.40	0.40	1.46	0.2800
19	40.00	1.90	40.05	37.9999
20	40.00	1.90	40.05	37.9999
21	1.90	43.20	43.24	41.0400
22	43.20	43.24	1.90	41.0400
23	1.90	2.70	3.30	2.5650
24	2.70	3.30	1.90	2.5650
25	1.40	2.60	2.95	1.8200
26	2.60	2.95	1.40	1.8200
27	1.44	2.97	2.60	1.8720
28	2.30	1.20	2.59	1.3800
29	1.00	4.20	4.32	2.1000
30	4.20	4.32	1.00	2.1000
31	2.30	4.50	5.05	5.1750
32	4.50	5.05	2.30	5.1750
33	1.40	6.40	6.55	4.4800
34	6.40	6.55	1.40	4.4800
35	4.40	4.80	6.51	10.5600
36	4.40	4.80	6.51	10.5600
37	1.00	1.60	1.89	0.8000
			合計	581.2342
			面積	581.23㎡

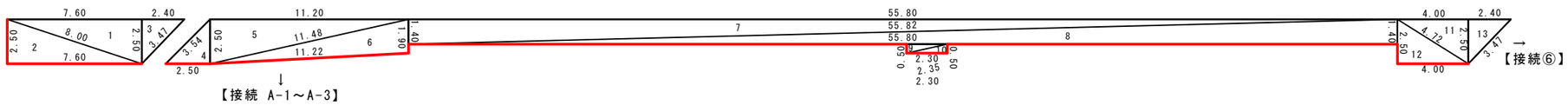
舗装版切断　L=310.2m

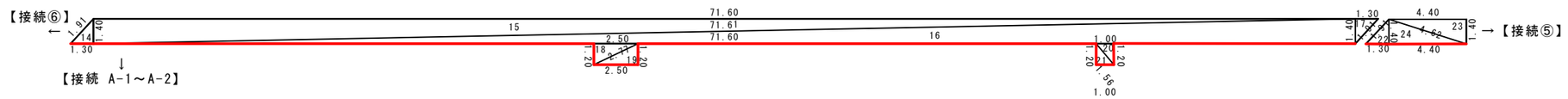
A-１路線：市道（車道部3-4-7-35）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	7.60	2.50	8.00	9.5000
2	7.60	2.50	8.00	9.5000
3	2.40	3.47	2.50	3.0000
4	2.50	2.50	3.54	3.1250
5	2.50	11.20	11.48	14.0000
6	11.22	11.48	1.90	10.6436
7	1.40	55.80	55.82	39.0599
8	55.80	55.82	1.40	39.0599
9	0.50	2.30	2.35	0.5750
10	2.30	2.35	0.50	0.5750
11	4.00	2.50	4.72	5.0000
12	4.00	2.50	4.72	5.0000
13	2.40	3.47	2.50	3.0000
14	1.40	1.30	1.91	0.9100
15	1.40	71.60	71.61	50.1198
16	71.60	71.61	1.40	50.1198
17	1.30	1.91	1.40	0.9100
18	1.20	2.50	2.77	1.5000
19	2.50	2.77	1.20	1.5000
20	1.00	1.20	1.56	0.6000
21	1.00	1.20	1.56	0.6000
22	1.40	1.30	1.91	0.9100
23	4.40	1.40	4.62	3.0800
24	4.40	1.40	4.62	3.0800
			合計	255.3680
			面積	255.37㎡

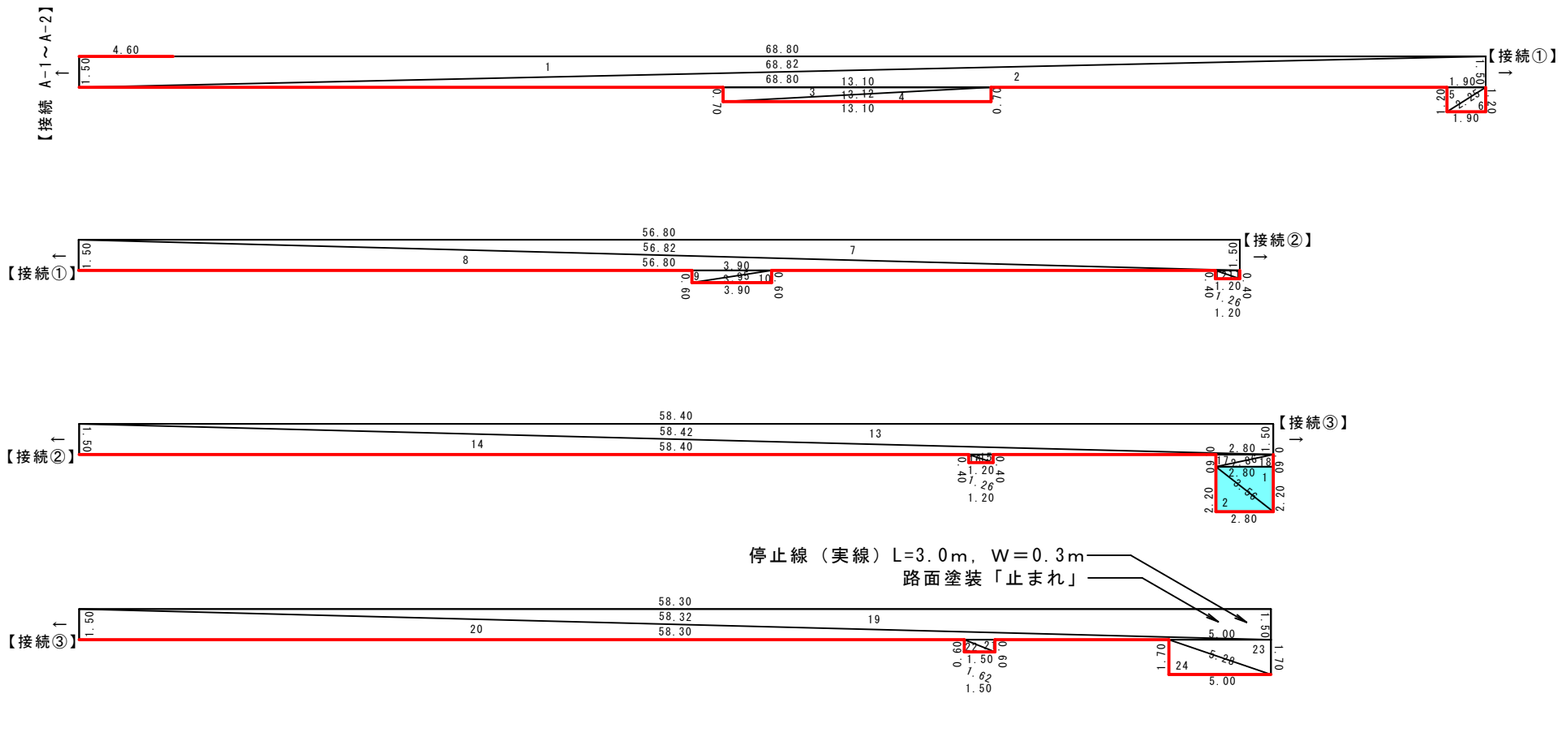
舗装版切断　L=169.7m

A-1路線：市道 東町一丁目1号線（車道部） 1：300





A-2路線：市道 東町一丁目7号線（車道部） 1：300



A-2路線：市道（車道部3-4-7-35）

NO	辺長a	辺長b	辺長c	面積
1	1.50	68.80	68.82	51.5998
2	68.80	68.82	1.50	51.5998
3	0.70	13.10	13.12	4.5850
4	13.10	13.12	0.70	4.5850
5	1.20	1.90	2.25	1.1400
6	1.90	2.25	1.20	1.1400
7	56.80	1.50	56.82	42.6000
8	56.80	1.50	56.82	42.6000
9	0.60	3.90	3.95	1.1700
10	3.90	3.95	0.60	1.1700
11	1.20	0.40	1.26	0.2400
12	1.20	0.40	1.26	0.2400
13	58.40	1.50	58.42	43.8000
14	58.40	1.50	58.42	43.8000
15	1.20	0.40	1.26	0.2400
16	1.20	0.40	1.26	0.2400
17	0.60	2.80	2.86	0.8400
18	2.80	2.86	0.60	0.8400
19	58.30	1.50	58.32	43.7250
20	58.30	1.50	58.32	43.7250
21	1.50	0.60	1.62	0.4500
22	1.50	0.60	1.62	0.4500
23	5.00	1.70	5.28	4.2500
24	5.00	1.70	5.28	4.2500
			合計	389.2796
			面積	389.28㎡

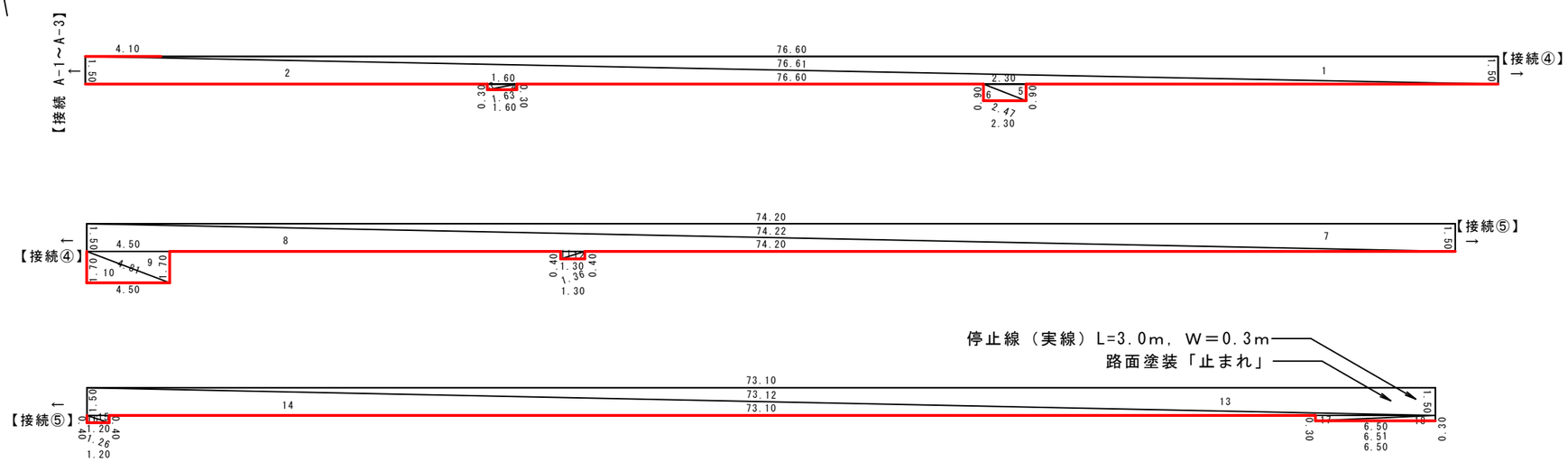
舗装版切断 L=254.8m

A-2路線：市道（車道部3-4-7-35）
※土木課舗装連携範囲

NO	辺長a	辺長b	辺長c	面積
1	2.80	2.20	3.56	3.0800
2	2.80	2.20	3.56	3.0800
			合計	6.1600
			面積	6.16㎡

舗装版切断 L=7.2m

A-3路線：市道 東町一丁目6号線（車道部） 1：300



A-3路線：市道（車道部3-4-7-35）

NO	辺長a	辺長b	辺長c	面積
1	76.60	1.50	76.61	57.4497
2	76.60	1.50	76.61	57.4497
3	0.30	1.60	1.63	0.2400
4	1.60	1.63	0.30	0.2400
5	2.30	0.90	2.47	1.0350
6	2.30	0.90	2.47	1.0350
7	74.20	1.50	74.22	55.6497
8	74.20	1.50	74.22	55.6497
9	4.50	1.70	4.81	3.8250
10	4.50	1.70	4.81	3.8250
11	0.40	1.30	1.36	0.2600
12	1.30	1.36	0.40	0.2600
13	73.10	1.50	73.12	54.8247
14	73.10	1.50	73.12	54.8247
15	1.20	0.40	1.26	0.2400
16	1.20	0.40	1.26	0.2400
17	0.30	6.50	6.51	0.9749
18	6.50	6.51	0.30	0.9749
			合計	348.9980
			面積	349.00㎡

舗装版切断 L=235.7m

舗装復旧工数量集計表　　実施

上段:実施設計
下段:変更設計

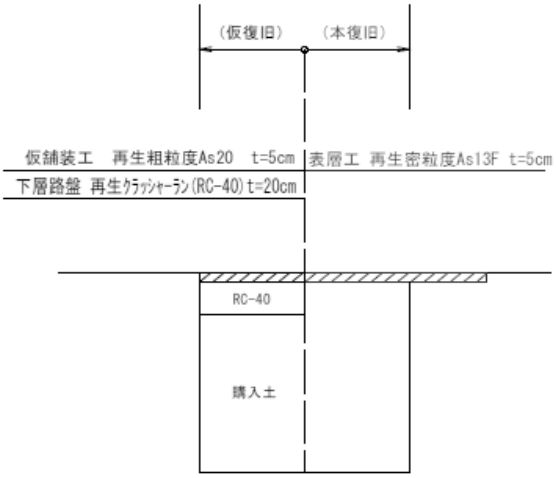
工　種	名　　称	規　　格	B-1～B-3 市道 5-20			計	あらため 数量	備　　考
舗装撤去工	舗装版切断	15cm以下	476.7			476.7	480 m	10m単位 100m未満は1m
							m	
	舗装版破砕	BH掘削積込 0.45m3 15cm以下 騒音対策不要	1,333.3			1,333.3	1330 m2	10㎡単位 100㎡未満は1㎡
							㎡	
	Ａｓ殻運搬工	BH0.45m3 DT10t L=4.0km DID有り	94.5			94.5	95 m3	1m3
							m3	
	Ａｓ殻処分	酒井鈴木工業㈱	94.5			94.5	95 m3	1m3
							m3	
	舗装切断排水処分	㈱安藤組	0.48			0.5	0.5 m3	
							m3	
	舗装切断排水運搬工	現場発生品運搬 2t級2.9t吊 L=13.8km DID有り	0.67			0.7	0.7 t	
							t	
路盤工	不陸整正	補足材なし	407.6			407.6	408 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
							m2	
		補足材あり t=30mm,RC-40	925.7			925.7	926 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
舗装工	表層工	再生密粒度As13F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=5cm プライムコート	1,333.3			1,333.3	1330 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
区画線工	止まれ 溶融式(手動)	文字･15cm換算、白色 塗布厚1.0mm	33.6			33.6	34 m	1m
							m	
	外側線 溶融式(手動)	実線・W=15cm、白色 塗布厚1.0mm	11.6			11.6	12 m	1m

舗装工	B-1～B-3	駅東一丁目地内ほか	実施

市道（5-20）
再生密粒度As13F

駅東一丁目地内ほか
B-1～B3路線

市道・車道（5-20）

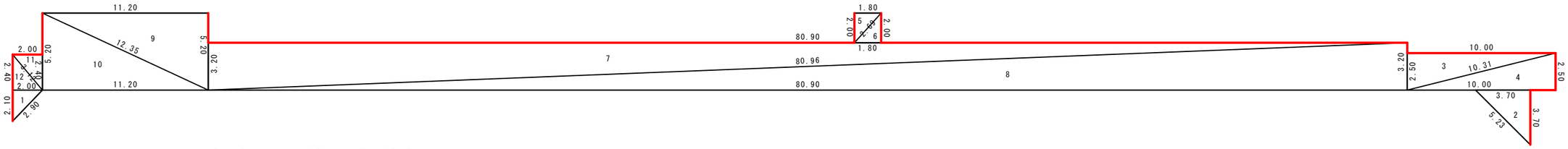


仮舗装面積の合計　407.61

既設舗装厚 t=8.0cm

名　　称	形 状 寸 法	計　　算	数　量	
舗装版切断工	t≦15cm	113.00 + 143.60 + 220.10 = 476.70 B-1 B-2 B-3	476.7	m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	359.46 + 402.88 + 570.97 = 1333.31 B-1 B-2 B-3	1333.3	m2
As殻処分工 （既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(1333.31 − 407.61) × 0.080 全体 仮舗装面積 既設舗装厚さ	74.1	m3
As殻処分工 （仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	407.61 × 0.050 仮舗装 仮舗装厚さ	20.4	m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 4.0km	74.1 ＋ 20.4 既設舗装 仮舗装	94.5	m3
舗装切断排水処分	13.8km 安藤組(庄内町)	476.70 × 0.001	0.48	m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	0.48 × 1.400	0.67	t
不陸整正 （仮舗装）	補足材なし	407.61	407.6	m2
不陸整正 （既設舗装）	補足材あり t=30mm,RC-40	1333.31 − 407.61 = 925.70	925.7	m2
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t =5cm	1333.31 PK-3	1333.3	m2
区画線工 （止まれ）	溶融式・15cm換算 白色　文字	（　止　5.60　ま　6.75　れ　7.26　） （箇所数）× 1.00 × 2.00 × 2.00	33.6	m
区画線工 （外側線）	溶融式、W=15cm 白色、実線	11.60 別紙より	11.6	m

B-１路線：市道 駅東一丁目６号線（車道部） 1：300



B-１路線：市道（車道部5-20）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	2.00	2.90	2.10	2.1000
2	3.70	3.70	5.23	6.8450
3	2.50	10.00	10.31	12.5000
4	10.00	10.31	2.50	12.5000
5	2.00	1.80	2.69	1.8000
6	1.80	2.69	2.00	1.8000
7	3.20	80.90	80.96	129.4399
8	80.90	80.96	3.20	129.4399
9	11.20	5.20	12.35	29.1200
10	11.20	5.20	12.35	29.1200
11	2.00	2.40	3.12	2.4000
12	2.00	2.40	3.12	2.4000
			合計	359.4648
			面積	359.46㎡

舗装版切断　L=113.0m

B-２路線：市道（車道部5-20）
※土木課舗装連携範囲

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	2.90	4.50	5.35	6.5250
2	4.50	5.35	2.90	6.5250
			合計	13.0500
			面積	13.05㎡

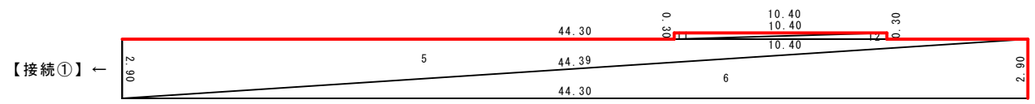
舗装版切断　L=7.8m

B-２路線：市道（車道部5-20）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	8.70	2.50	9.05	10.8750
2	8.70	2.50	9.05	10.8750
3	85.50	2.90	85.55	123.9750
4	85.50	2.90	85.55	123.9750
5	2.90	44.30	44.39	64.2349
6	44.30	44.39	2.90	64.2349
7	0.30	3.50	3.51	0.5250
8	3.50	3.51	0.30	0.5250
9	0.30	1.80	1.82	0.2700
10	1.80	1.82	0.30	0.2700
11	0.30	10.40	10.40	1.5598
12	10.40	10.40	0.30	1.5598
			合計	402.8794
			面積	402.88㎡

舗装版切断　L=143.6m

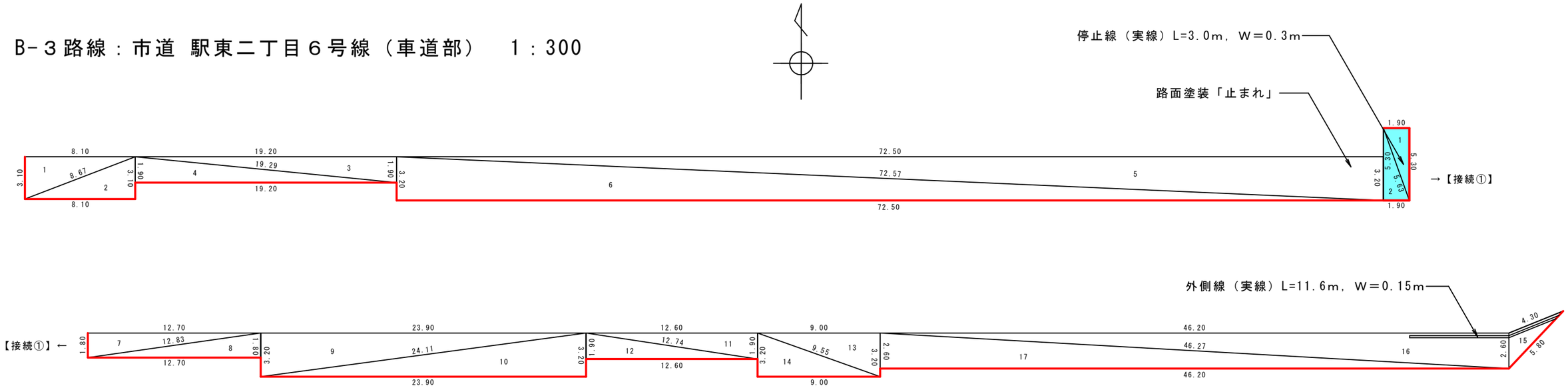
B-２路線：市道 駅東一丁目６号線（車道部） 1：300



路面塗装「まれ」

路面塗装「止」

B-３路線：市道 駅東二丁目６号線（車道部） １：300



B-３路線：市道（車道部5-20）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	3.10	8.10	8.67	12.5550
2	8.10	8.67	3.10	12.5550
3	19.20	1.90	19.29	18.2400
4	19.20	1.90	19.29	18.2400
5	72.50	3.20	72.57	116.0000
6	72.50	3.20	72.57	116.0000
7	1.80	12.70	12.83	11.4300
8	12.70	12.83	1.80	11.4300
9	3.20	23.90	24.11	38.2400
10	23.90	24.11	3.20	38.2400
11	12.60	1.90	12.74	11.9700
12	12.60	1.90	12.74	11.9700
13	9.00	3.20	9.55	14.4000
14	9.00	3.20	9.55	14.4000
15	5.80	2.60	4.30	5.1816
16	46.20	2.60	46.27	60.0600
17	46.20	2.60	46.27	60.0600
			合計	570.9716
			面積	570.97㎡

舗装版切断　L=220.1m

B-３路線：市道（車道部5-20）

※土木課舗装連携範囲

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	1.90	5.30	5.63	5.0350
2	5.30	5.63	1.90	5.0350
			合計	10.0700
			面積	10.07㎡

舗装版切断　L=9.1m

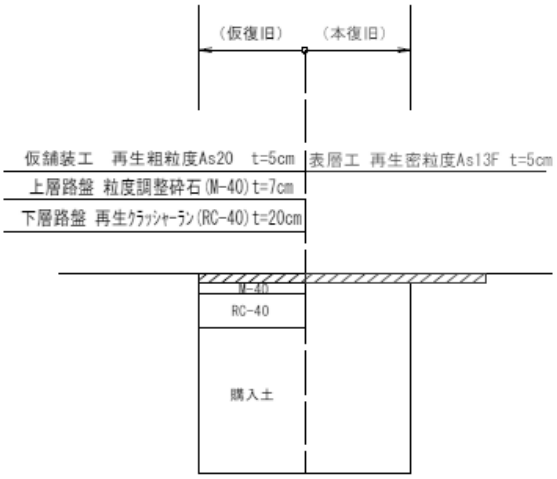
舗装復旧工数量集計表			実施					上段:実施設計 下段:変更設計
工　種	名　　称	規　　格	C-1 市道 5-7-20			計	あらため 数量	備　　考
舗装撤去工	舗装版切断	15cm以下	743.6			743.6	740 m	10m単位 100m未満は1m
							m	
	舗装版破砕	BH掘削積込 0.45m3 15cm以下 騒音対策不要	1,281.3			1,281.3	1280 m2	10㎡単位 100㎡未満は1㎡
							㎡	
	Ａｓ殻運搬工	BH0.45m3 DT10t L=9.9km DID有り	64.1			64.1	64 m3	1m3
							m3	
	Ａｓ殻処分	酒井鈴木工業㈱	64.1			64.1	64 m3	1m3
							m3	
	舗装切断排水処分	㈱安藤組	0.74			0.7	0.7 m3	
							m3	
	舗装切断排水運搬工	現場発生品運搬 2t級2.9t吊 L=8.8km DID無し	1.04			1.0	1.0 t	
							t	
路盤工	不陸整正	補足材なし	1,281.3			1,281.3	1280 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
							m2	
舗装工	表層工	再生密粒度As13F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=5cm プライムコート	1,281.3			1,281.3	1280 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
区画線工	停止線 溶融式(手動)	実線・W=15cm、白色 塗布厚1.0mm	4.0			4.0	4 m	1m
							m	
	外側線 溶融式(手動)	実線・W=15cm、白色 塗布厚1.0mm	693.6			693.6	694 m	1m

舗装工	C-1	大槻新田地内	実施

市道（5-7-20）
再生密粒度As13F

大槻新田地内
C-1路線

市道・車道（5-7-20）

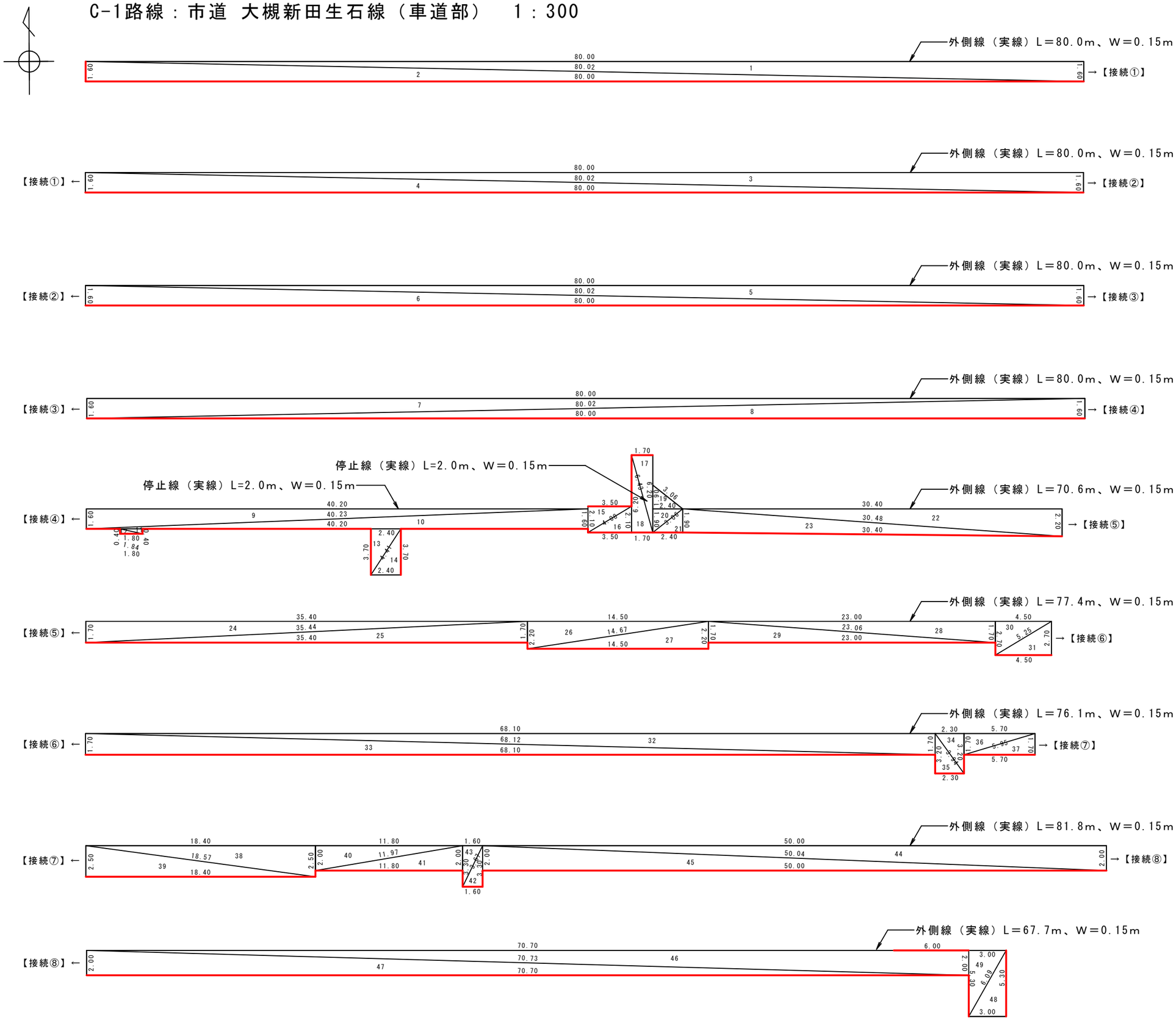


仮舗装面積の合計　469.6

既設舗装厚 t=5.0cm

名　　称	形 状 寸 法	計　　算	数　量	
舗装版切断工	t≦15cm	743.60 C-1　＝ 743.60	743.6	m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	1281.30 C-1　＝ 1281.30	1281.3	m2
As殻処分工 （既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(1281.30 － 469.60) × 0.050 全体　仮舗装面積　既設舗装厚さ	40.6	m3
As殻処分工 （仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	469.60 × 0.050 仮舗装　仮舗装厚さ	23.5	m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 9.9km	40.6 ＋ 23.5 既設舗装　仮舗装	64.1	m3
舗装切断排水処分	8.8km 安藤組(庄内町)	743.60 × 0.001	0.74	m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID無し	0.74 × 1.400	1.04	t
不陸整正	補足材なし	1281.30	1281.3	m2
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t =5cm	1281.30 PK-3	1281.3	m2
区画線工 （停止線）	溶融式、W=15cm 白色、実線	停止線 別紙より　4.00	4.0	m
区画線工 （外側線）	溶融式、W=15cm 白色、実線	693.60 別紙より	693.6	m

C-1路線：市道 大槻新田生石線（車道部） 1：300



C-1路線：市道（車道部5-7-20）

NO	辺長a	辺長b	辺長c	面積
1	80.00	1.60	80.02	63.9998
2	80.00	1.60	80.02	63.9998
3	80.00	1.60	80.02	63.9998
4	80.00	1.60	80.02	63.9998
5	80.00	1.60	80.02	63.9998
6	80.00	1.60	80.02	63.9998
7	1.60	80.00	80.02	63.9998
8	80.00	80.02	1.60	63.9998
9	1.60	40.20	40.23	32.1600
10	40.20	40.23	1.60	32.1600
11	1.80	0.40	1.84	0.3600
12	1.80	0.40	1.84	0.3600
13	3.70	2.40	4.41	4.4400
14	2.40	4.41	3.70	4.4400
15	2.10	3.50	4.08	3.6750
16	3.50	4.08	2.10	3.6750
17	1.70	6.20	6.43	5.2700
18	6.20	6.43	1.70	5.2700
19	3.06	2.40	1.90	2.2800
20	1.90	2.40	3.06	2.2800
21	2.40	3.06	1.90	2.2800
22	30.40	2.20	30.48	33.4400
23	30.40	1.90	30.48	28.8783
24	1.70	35.40	35.44	30.0900
25	35.40	35.44	1.70	30.0900
26	2.20	14.50	14.67	15.9500
27	14.50	14.67	2.20	15.9500
28	23.00	1.70	23.06	19.5500
29	23.00	1.70	23.06	19.5500
30	2.70	4.50	5.25	6.0750
31	4.50	5.25	2.70	6.0750
32	68.10	1.70	68.12	57.8850
33	68.10	1.70	68.12	57.8850
34	2.30	3.20	3.94	3.6800
35	2.30	3.20	3.94	3.6800
36	1.70	5.70	5.95	4.8450
37	5.70	5.95	1.70	4.8450
38	18.40	2.50	18.57	23.0000
39	18.40	2.50	18.57	23.0000
40	2.00	11.80	11.97	11.8000
41	11.80	11.97	2.00	11.8000
42	3.30	1.60	3.67	2.6400
43	3.30	1.60	3.67	2.6400
44	50.00	2.00	50.04	50.0000
45	50.00	2.00	50.04	50.0000
46	70.70	2.00	70.73	70.7000
47	70.70	2.00	70.73	70.7000
48	5.30	3.00	6.09	7.9500
49	5.30	3.00	6.09	7.9500
			合計	1281.2967
			面積	1281.30㎡

舗装版切断　L=743.6m

舗装復旧工数量集計表　　実施

上段:実施設計
下段:変更設計

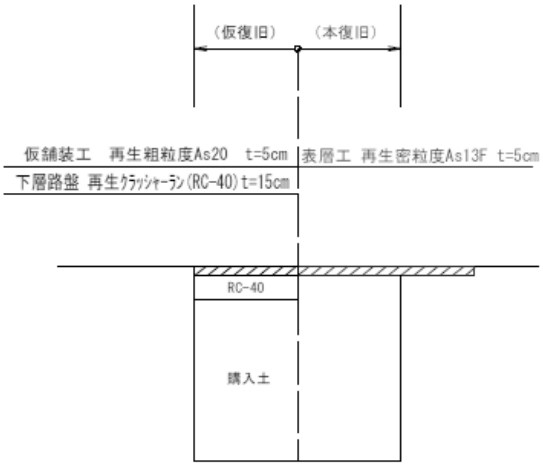
工　種	名　称	規　格	D-1 市道 5-15	D-2～D-5 市道 5-15	D-6 市道 3-4-15	D-7 市道 3-10	E-1～E-6 市道 5-15	E-1・E-6 市道 3-10	計	あらため数量	備　考
舗装撤去工	舗装版切断	15cm以下	346.1	657.9	113.6	－	1,214.6	4.0	2,336.2	2340 m	10m単位 100m未満は1m
										m	
	舗装版破砕	BH掘削積込 0.45m3 15cm以下 騒音対策不要	548.9	1,627.7	246.5	48.7	2,619.5	5.3	5,096.6	5100 m2	10㎡単位 100㎡未満は1㎡
										㎡	
	Ａｓ殻運搬工	BH0.45m3 DT10t L=2.8km DID有り	27.5	73.1	14.5	1.5	130.9	0.2	247.7	248 m3	1m3
										m3	
	Ａｓ殻処分	酒井鈴木工業㈱	27.5	73.1	14.5	1.5	130.9	0.2	247.7	248 m3	1m3
										m3	
	舗装切断排水処分	㈱安藤組	0.35	0.66	0.11	－	1.21	0.01	2.3	2.3 m3	
										m3	
	舗装切断排水運搬工	現場発生品運搬 2t級2.9t吊 L=15.2km DID有り	0.49	0.92	0.15	－	1.69	0.01	3.3	3.3 t	
										t	
土工	床掘り	BH0.45m3	－	8.2	2.8	－	－	－	11.0	11 m3	100㎡単位 1,000㎡未満は10㎡ 100㎡未満は1㎡
										m3	
	土砂等運搬	BH0.45m3 L=16.8km DID有り	－	8.2	2.8	－	－	－	11.0	11 m3	10㎥単位 100㎥未満は1㎥
										m3	
	残土処分工	(有)連枝砂利	－	8.2	2.8	－	－	－	11.0	11 m3	10㎥単位 100㎥未満は1㎥
										m3	
路盤工	不陸整正	補足材なし	548.9	1,627.7	246.5	48.7	2,619.5	5.3	5,096.6	5100 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
										m2	
舗装工	表層工	再生密粒度As13F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=5cm プライムコート	548.9	1,627.7	－	－	2,619.5	－	4,796.1	4800 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
	表層工	再生密粒度As20F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=7cm プライムコート	－	－	246.5	－	－	－	246.5	247 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
	表層工	再生細粒度As13 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=3cm プライムコート	－	－	－	48.7	－	－	48.7	49 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
	表層工	再生細粒度As13 1.4未満 人力施工 t=3cm プライムコート	－	－	－	－	－	5.3	5.3	5 m2	10㎡単位 1000㎡未満は1㎡
区画線工	止まれ 溶融式(手動)	文字･15cm換算、白色 塗布厚1.0mm	19.6	19.6	－	－	44.8	－	84.0	84 m	1m
										m	
	停止線 溶融式(手動)	実線・W=30cm、白色 塗布厚1.0mm	3.0	6.0	－	－	9.1	－	18.1	18 m	1m
	中央線 溶融式(手動)	破線・W=15cm、白色 塗布厚1.0mm	－	－	－	－	141.2	－	141.2	141 m	1m
	ドットライン 溶融式(手動)	破線・W=30cm、白色 塗布厚1.0mm	－	－	2.5	－	－	－	2.5	3 m	1m

舗装工	D-1	緑ヶ丘一丁目地内	実施

市道（5-15）
再生密粒度As13F

緑ヶ丘一丁目地内
D-1路線

市道・車道（5-15）



仮舗装面積の合計　273.03

既設舗装厚 t=5.0cm

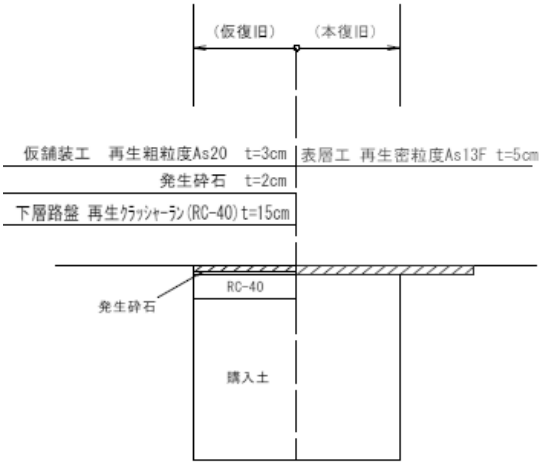
名　称	形状寸法	計　算	数　量
舗装版切断工	t≦15cm	346.10 D-1 ＝ 346.10	346.1 m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	548.93 D-1 ＝ 548.93	548.9 m2
As殻処分工（既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(548.93 全体 － 273.03 仮舗装面積) × 0.050 既設舗装厚さ	13.8 m3
As殻処分工（仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	273.03 仮舗装 × 0.050 仮舗装厚さ	13.7 m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 2.8km	13.8 既設舗装 ＋ 13.7 仮舗装	27.5 m3
舗装切断排水処分	15.2km 安藤組(庄内町)	346.10 × 0.001	0.35 m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	0.35 × 1.400	0.49 t
不陸整正	補足材なし	548.93	548.9 m2
1.4m以上3.0m以下表層工	再生密粒度As13F t=5cm	548.93 PK-3	548.9 m2
区画線工（止まれ）	溶融式・15cm換算 白色　文字	（ 止 5.60 ま 6.75 れ 7.26 ） (箇所数) × 1.00 × 1.00 × 1.00	19.6 m
区画線工（停止線）	溶融式、W=30cm 白色、実線	停止線 別紙より 3.00	3.0 m

舗装工	D-2～D-5	緑ヶ丘一丁目地内	実施

市道（5-15）
再生密粒度As13F

緑ヶ丘一丁目地内
D-2～D-5路線

市道・車道（5-15）



仮舗装面積の合計　410.84

既設舗装厚 t=5.0cm

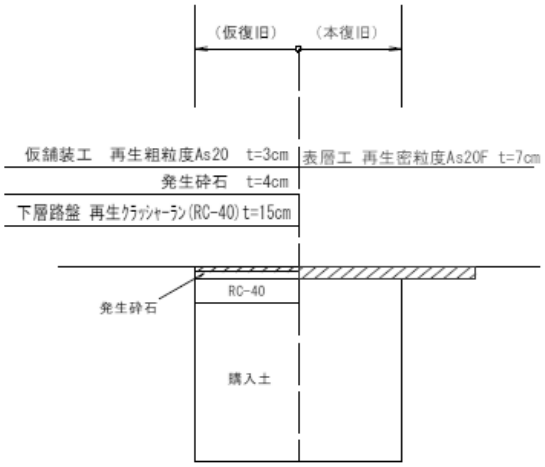
名　称	形状寸法	計　算	数　量	
舗装版切断工	t≦15cm	50.20 + 88.70 + 302.20 + 216.80 ＝ 657.90 D-2 D-3 D-4 D-5	657.9	m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	122.01 + 250.23 + 843.16 + 412.34 ＝ 1627.74 D-2 D-3 D-4 D-5	1627.7	m2
As殻処分工 （既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(1627.74 － 410.84) × 0.050 全体 仮舗装面積 既設舗装厚さ	60.8	m3
As殻処分工 （仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	410.84 × 0.030 仮舗装 仮舗装厚さ	12.3	m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 2.8km	60.8 ＋ 12.3 既設舗装 仮舗装	73.1	m3
舗装切断排水処分	15.2km 安藤組(庄内町)	657.90 × 0.001	0.66	m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	0.66 × 1.400	0.92	t
床掘り	BH0.45m3	410.84 × 0.02	8.2	m³
土砂等運搬	DID有り BH0.45m3	410.84 × 0.02	8.2	m³
残土処分工	土砂、16.8km (有)連枝砂利	410.84 × 0.02	8.2	m³
不陸整正	補足材なし	1627.70	1627.7	m2
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	1627.74 PK-3	1627.7	m2
区画線工 （止まれ）	溶融式・15cm換算 白色　文字	（　止　5.60　ま　6.75　れ　7.26　） （箇所数）× 1.00 × 1.00 × 1.00	19.6	m
区画線工 （停止線）	溶融式、W=30cm 白色、実線	停止線 別紙より 6.00	6.0	m

舗装工	D-6	緑ヶ丘一丁目地内	実施

市道（3-4-15）
再生密粒度As20F

緑ヶ丘一丁目地内
D-6路線

市道・車道（3-4-15）



仮舗装面積の合計　69.92

既設舗装厚 t=7.0cm

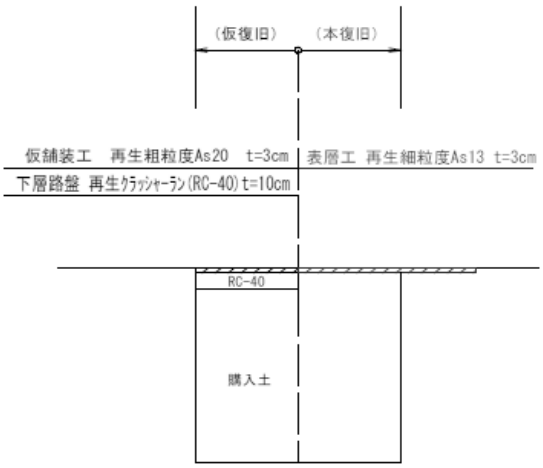
名　称	形状寸法	計　算	数　量	
舗装版切断工	t≦15cm	113.60 D-6　＝ 113.60	113.6	m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	246.52 D-6　＝ 246.52	246.5	m2
As殻処分工 （既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(246.52 － 69.92) × 0.070 全体　仮舗装面積　既設舗装厚さ	12.4	m3
As殻処分工 （仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	69.92 × 0.030 仮舗装　仮舗装厚さ	2.1	m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 2.8km	12.4 ＋ 2.1 既設舗装　仮舗装	14.5	m3
舗装切断排水処分	15.2km 安藤組(庄内町)	113.60 × 0.001	0.11	m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	0.11 × 1.400	0.15	t
床掘り	BH0.45m3	69.92 × 0.04	2.8	m³
土砂等運搬	DID有り BH0.45m3	69.92 × 0.04	2.8	m³
残土処分工	土砂、16.8km (有)連枝砂利	69.92 × 0.04	2.8	m³
不陸整正	補足材なし	246.52	246.5	m2
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As20F t=7cm	246.52 PK-3	246.5	m2
区画線工 （ドットライン）	溶融式、W=30cm 白色、破線	ドットライン（停止線） 別紙より　5.00 ÷ 2.00 ＝ 2.50　（塗布延長）	2.5	m

舗装工	D-7	緑ヶ丘一丁目地内	実施

市道（3-10）
再生細粒度As13

緑ヶ丘一丁目地内
D-7路線

市道・歩道（3-10）



仮舗装面積の合計　25.67

既設舗装厚 t=3.0cm

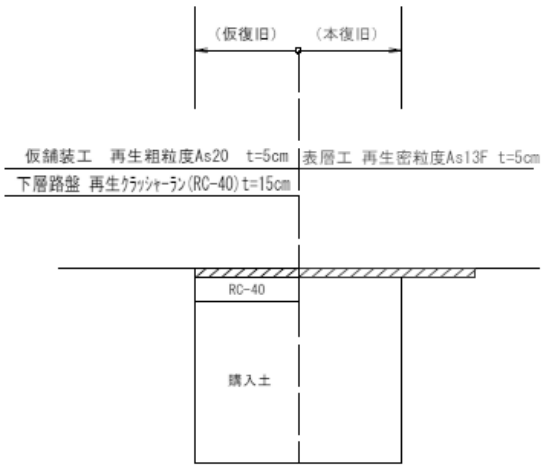
名　　称	形 状 寸 法	計　　算	数　量
舗装版切断工	t≦15cm	0.00 D-7 ＝ 0.00	0.0 m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	48.72 D-7 ＝ 48.72	48.7 m2
As殻処分工（既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(48.72 全体 － 25.67 仮舗装面積) × 0.030 既設舗装厚さ	0.7 m3
As殻処分工（仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	25.67 仮舗装 × 0.030 仮舗装厚さ	0.8 m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 2.8km	0.7 既設舗装 ＋ 0.8 仮舗装	1.5 m3
舗装切断排水処分	15.2km 安藤組(庄内町)	0.00 × 0.001	0.00 m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	0.00 × 1.400	0.00 t
不陸整正	補足材なし	48.70	48.7 m2
1.4m以上3.0m以下表層工	再生細粒度As13 t=3cm	48.72 PK-3	48.7 m2

舗装工	E-1～E-6	緑ヶ丘二丁目地内	実施

市道（5-15）
再生密粒度As13F

緑ヶ丘二丁目地内
E-1～E-6路線

市道・車道（5-15）



仮舗装面積の合計　960.91

既設舗装厚 t=5.0cm

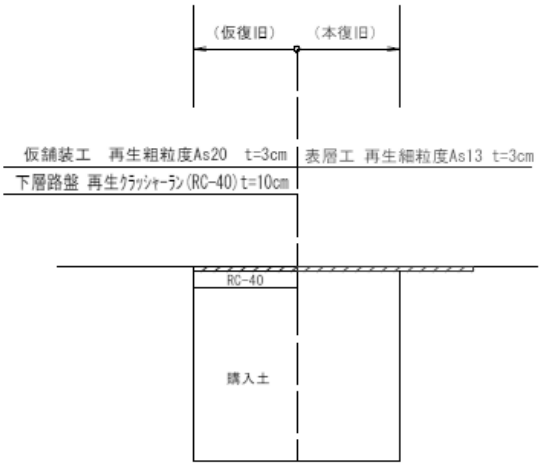
名　称	形状寸法	計　算	数　量	
舗装版切断工	t≦15cm	342.60 + 443.30 + 428.70 ＝ 1214.60 E-1　E-2～E-3　E-4～E-6	1214.6	m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	842.95 + 933.98 + 842.57 ＝ 2619.50 E-1　E-2～E-3　E-4～E-6	2619.5	m2
As殻処分工 （既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(2619.50 － 960.91) × 0.050 全体　仮舗装面積　既設舗装厚さ	82.9	m3
As殻処分工 （仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	960.91 × 0.050 仮舗装　仮舗装厚さ	48.0	m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 2.8km	82.9 ＋ 48.0 既設舗装　仮舗装	130.9	m3
舗装切断排水処分	15.2km 安藤組(庄内町)	1214.60 × 0.001	1.21	m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	1.21 × 1.400	1.69	t
不陸整正	補足材なし	2619.50	2619.5	m2
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F ｔ=5cm	2619.50 PK-3	2619.5	m2
区画線工 （止まれ）	溶融式・15cm換算 白色　文字	（　止　5.60　ま　6.75　れ　7.26　） （箇所数）× 3.00 × 2.00 × 2.00	44.8	m
区画線工 （停止線）	溶融式、W=30cm 白色、実線	停止線 別紙より　9.10	9.1	m
区画線工 （中央線）	溶融式、W=15cm 白色、破線	別紙より　282.30 ÷ 2.00 ＝ 141.15 （塗布延長）	141.2	m

舗装工	E-1・E-6	緑ヶ丘二丁目地内	実施

市道（3-10）
再生細粒度As13

緑ヶ丘二丁目地内
E-1・E-6路線

市道・歩道（3-10）

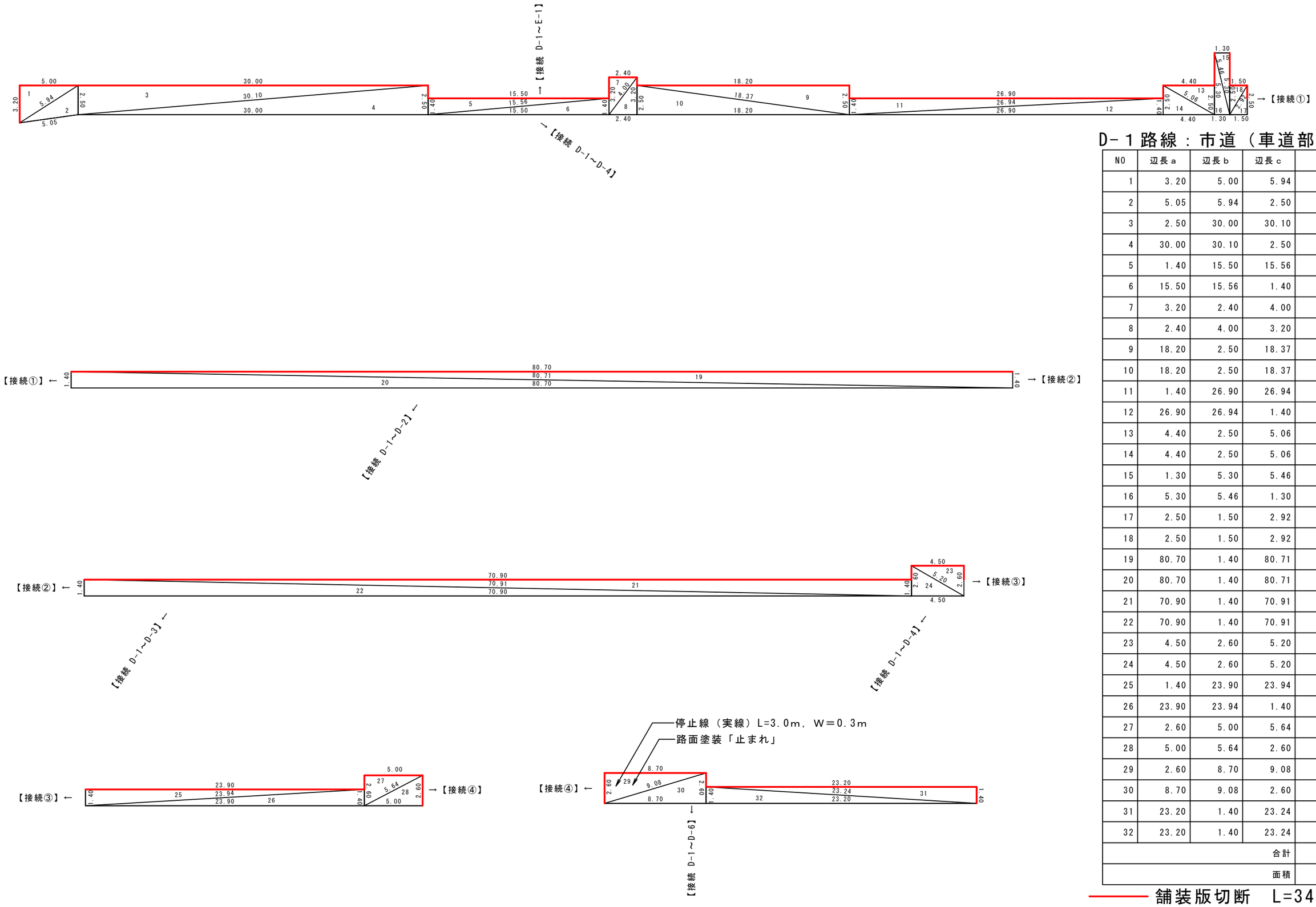


仮舗装面積の合計　　0

既設舗装厚 t=3.0cm

名　　称	形 状 寸 法	計　　算	数　量	
舗装版切断工	t≦15cm	2.00 + 2.00 ＝ 4.00 E-1　E-6	4.0	m
舗装破砕工	BH0.45m3 t≦15cm	2.80 + 2.50 ＝ 5.30 E-1　E-6	5.3	m2
As殻処分工 （既設舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	(5.30 − 0.00) × 0.030 全体　仮舗装面積　既設舗装厚さ	0.2	m3
As殻処分工 （仮舗装）	BH0.45m3,DT10t DID有り	0.00 × 0.030 仮舗装　仮舗装厚さ	0.0	m3
As殻廃材処理	酒井鈴木工業㈱ 2.8km	0.2 ＋ 0.0 既設舗装　仮舗装	0.2	m3
舗装切断排水処分	15.2km 安藤組(庄内町)	4.00 × 0.001	0.01	m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 DID有り	0.01 × 1.400	0.01	t
不陸整正	補足材なし	5.30	5.3	m2
1.4m未満 表層工	再生細粒度As13 ｔ=3cm	5.30 PK-3	5.3	m2

D-１路線：市道 緑ヶ丘二丁目若宮町線（車道部） １：300

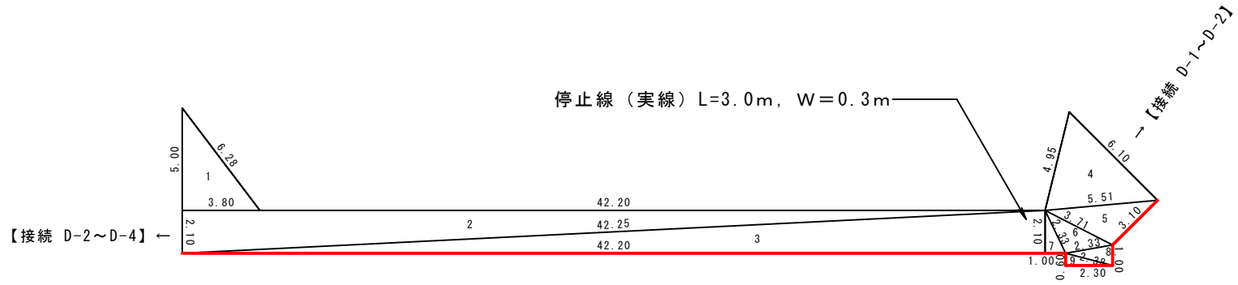


D-１路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	3.20	5.00	5.94	8.0000
2	5.05	5.94	2.50	6.2505
3	2.50	30.00	30.10	37.5000
4	30.00	30.10	2.50	37.5000
5	1.40	15.50	15.56	10.8500
6	15.50	15.56	1.40	10.8500
7	3.20	2.40	4.00	3.8400
8	2.40	4.00	3.20	3.8400
9	18.20	2.50	18.37	22.7500
10	18.20	2.50	18.37	22.7500
11	1.40	26.90	26.94	18.8299
12	26.90	26.94	1.40	18.8299
13	4.40	2.50	5.06	5.5000
14	4.40	2.50	5.06	5.5000
15	1.30	5.30	5.46	3.4450
16	5.30	5.46	1.30	3.4450
17	2.50	1.50	2.92	1.8750
18	2.50	1.50	2.92	1.8750
19	80.70	1.40	80.71	56.4899
20	80.70	1.40	80.71	56.4899
21	70.90	1.40	70.91	49.6298
22	70.90	1.40	70.91	49.6298
23	4.50	2.60	5.20	5.8500
24	4.50	2.60	5.20	5.8500
25	1.40	23.90	23.94	16.7300
26	23.90	23.94	1.40	16.7300
27	2.60	5.00	5.64	6.5000
28	5.00	5.64	2.60	6.5000
29	2.60	8.70	9.08	11.3100
30	8.70	9.08	2.60	11.3100
31	23.20	1.40	23.24	16.2400
32	23.20	1.40	23.24	16.2400
			合計	548.9297
			面積	548.93㎡

舗装版切断　L=346.1m

D-2路線：市道 緑ヶ丘一丁目15号線（車道部） 1：300

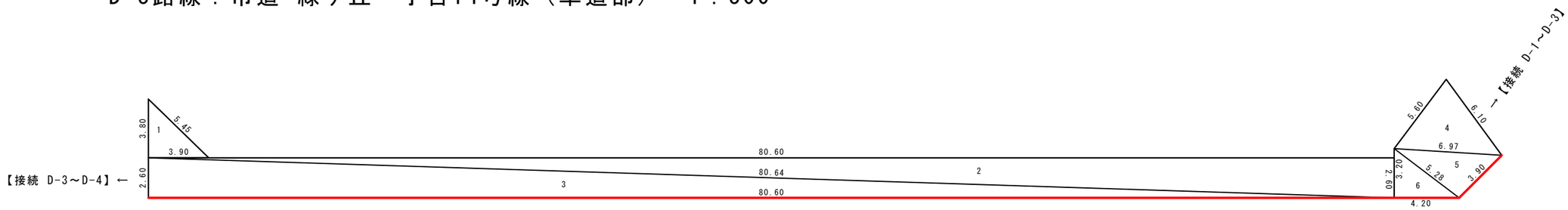


D-2路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	6.28	3.80	5.00	9.5000
2	2.10	42.20	42.25	44.3100
3	42.20	42.25	2.10	44.3100
4	4.95	6.10	5.51	12.9034
5	3.10	3.71	5.51	5.4789
6	2.33	2.33	3.71	2.6154
7	1.00	2.10	2.33	1.0500
8	1.00	2.38	2.33	1.1492
9	2.30	0.60	2.38	0.6900
			合計	122.0069
			面積	122.01㎡

舗装版切断　L=50.2m

D-3路線：市道 緑ヶ丘一丁目14号線（車道部） 1：300

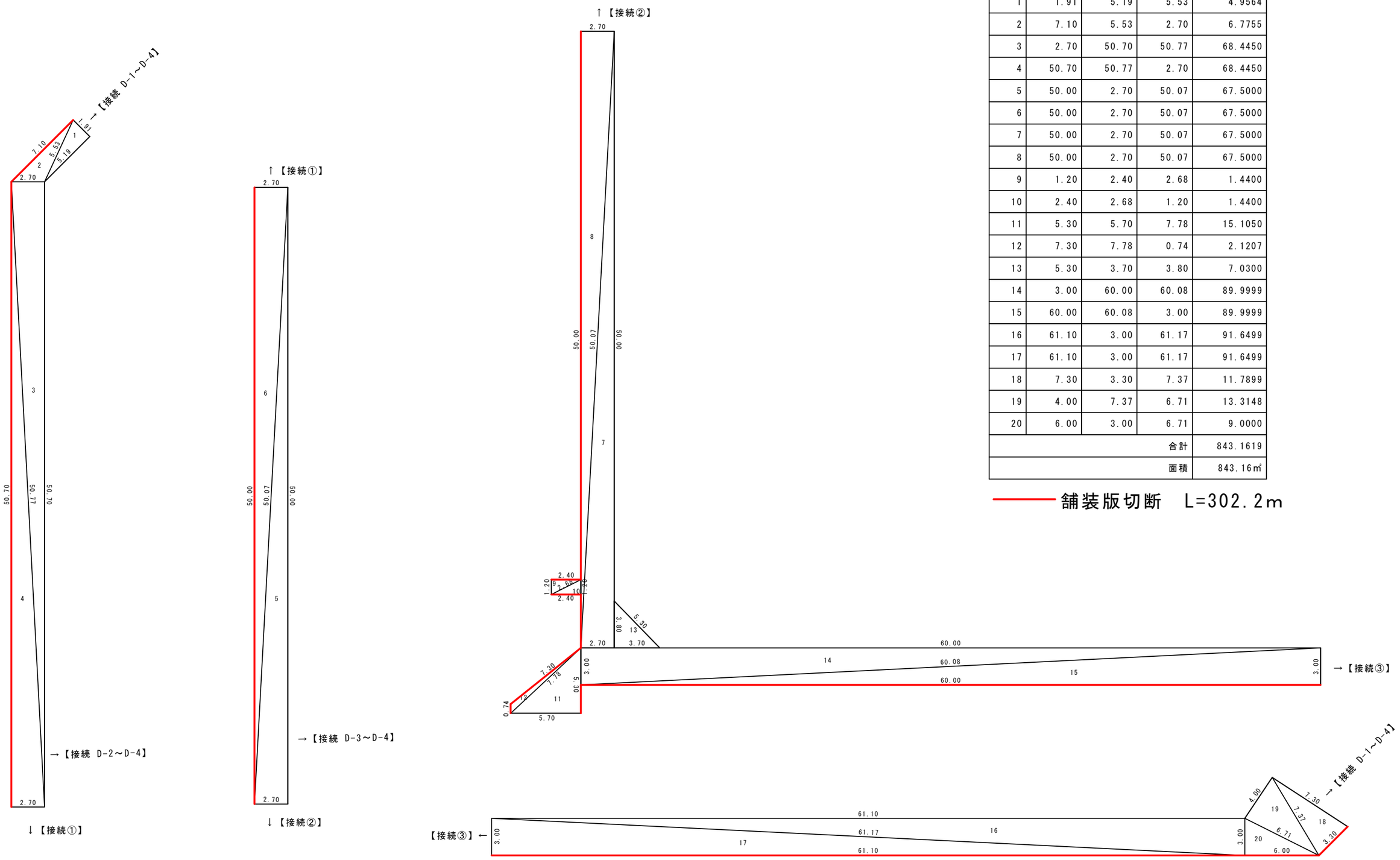


D-3路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	5.45	3.90	3.80	7.4100
2	80.60	2.60	80.64	104.7800
3	80.60	2.60	80.64	104.7800
4	5.60	6.10	6.97	16.3326
5	3.90	5.28	6.97	10.2040
6	4.20	3.20	5.28	6.7200
			合計	250.2266
			面積	250.23㎡

舗装版切断　L=88.7m

D-4路線：市道 緑ヶ丘一丁目13号線線（車道部） 1：300

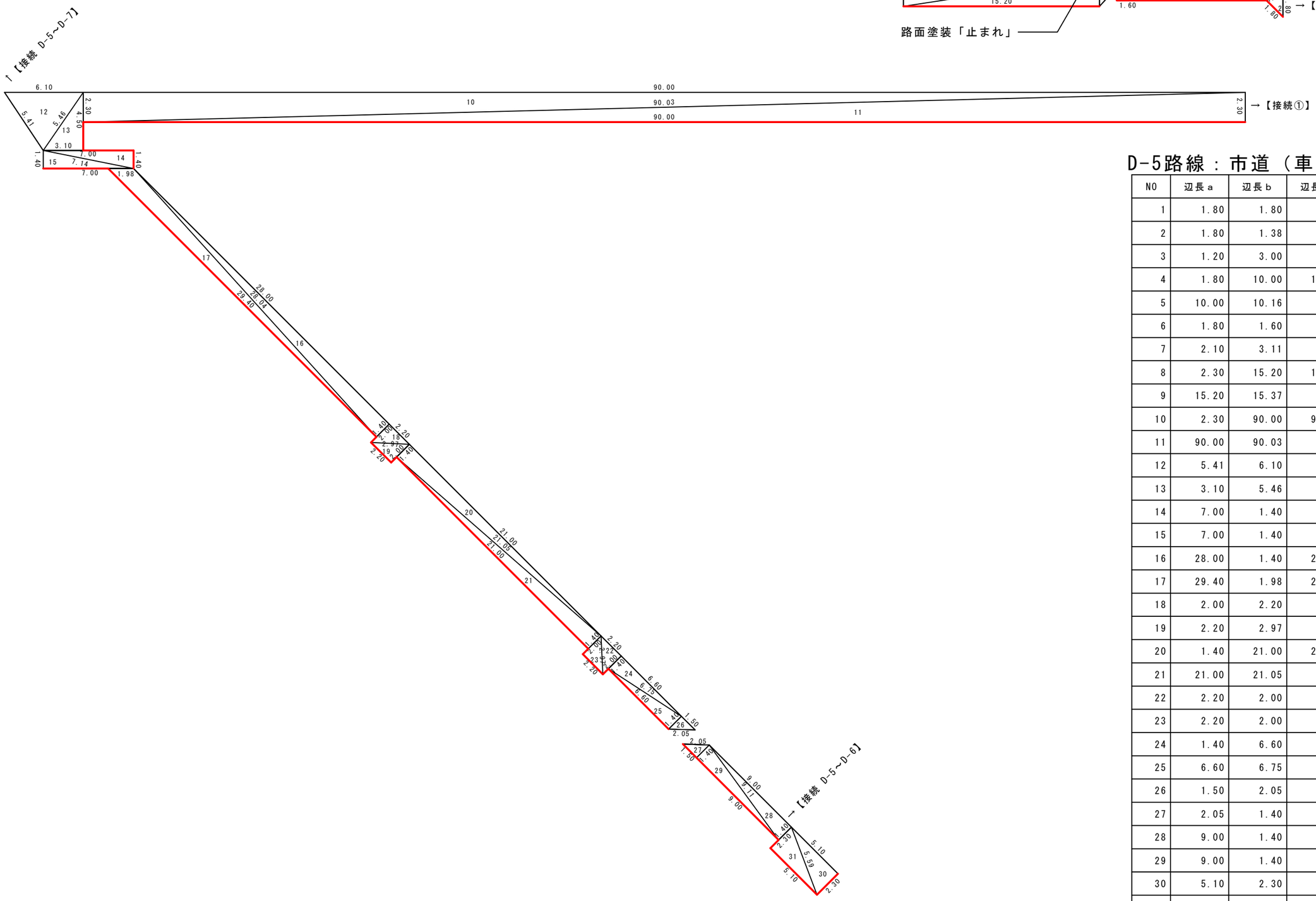


D-4路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	1.91	5.19	5.53	4.9564
2	7.10	5.53	2.70	6.7755
3	2.70	50.70	50.77	68.4450
4	50.70	50.77	2.70	68.4450
5	50.00	2.70	50.07	67.5000
6	50.00	2.70	50.07	67.5000
7	50.00	2.70	50.07	67.5000
8	50.00	2.70	50.07	67.5000
9	1.20	2.40	2.68	1.4400
10	2.40	2.68	1.20	1.4400
11	5.30	5.70	7.78	15.1050
12	7.30	7.78	0.74	2.1207
13	5.30	3.70	3.80	7.0300
14	3.00	60.00	60.08	89.9999
15	60.00	60.08	3.00	89.9999
16	61.10	3.00	61.17	91.6499
17	61.10	3.00	61.17	91.6499
18	7.30	3.30	7.37	11.7899
19	4.00	7.37	6.71	13.3148
20	6.00	3.00	6.71	9.0000
			合計	843.1619
			面積	843.16㎡

舗装版切断　L=302.2m

D-5路線：市道 緑ヶ丘一丁目1号線（車道部） 1：300

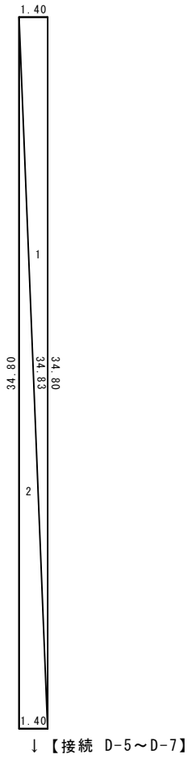


D-5路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	1.80	1.80	1.38	1.1471
2	1.80	1.38	1.80	1.1471
3	1.20	3.00	2.70	1.6186
4	1.80	10.00	10.16	9.0000
5	10.00	10.16	1.80	9.0000
6	1.80	1.60	2.41	1.4400
7	2.10	3.11	2.30	2.4150
8	2.30	15.20	15.37	17.4800
9	15.20	15.37	2.30	17.4800
10	2.30	90.00	90.03	103.5000
11	90.00	90.03	2.30	103.5000
12	5.41	6.10	5.46	13.7200
13	3.10	5.46	4.50	6.9750
14	7.00	1.40	7.14	4.9000
15	7.00	1.40	7.14	4.9000
16	28.00	1.40	28.04	19.5999
17	29.40	1.98	28.04	20.6522
18	2.00	2.20	2.97	2.2000
19	2.20	2.97	2.00	2.2000
20	1.40	21.00	21.05	14.7000
21	21.00	21.05	1.40	14.7000
22	2.20	2.00	2.97	2.2000
23	2.20	2.00	2.97	2.2000
24	1.40	6.60	6.75	4.6200
25	6.60	6.75	1.40	4.6200
26	1.50	2.05	1.40	1.0500
27	2.05	1.40	1.50	1.0500
28	9.00	1.40	9.11	6.3000
29	9.00	1.40	9.11	6.3000
30	5.10	2.30	5.59	5.8650
31	5.10	2.30	5.59	5.8650
			合計	412.3449
			面積	412.34㎡

舗装版切断 L=216.8m

D-7路線：市道 緑ヶ丘小路1号線（歩道部） 1：300



D-7路線：市道（歩道部3-10）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	1.40	34.80	34.83	24.3600
2	34.80	34.83	1.40	24.3600
			合計	48.7200
			面積	48.72㎡

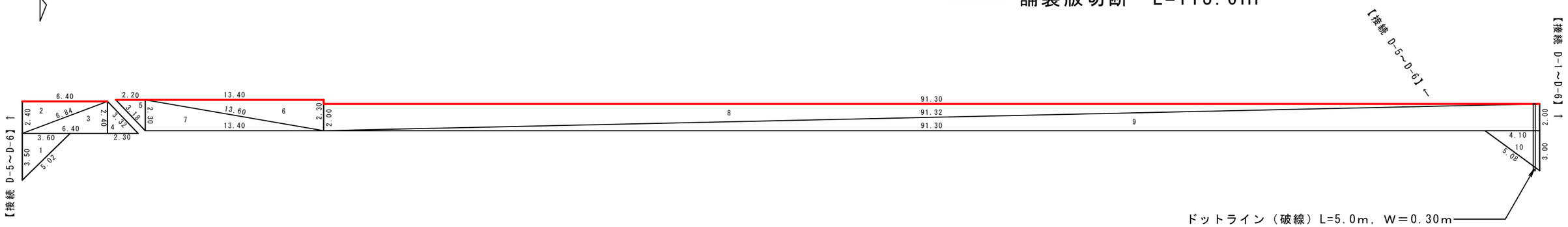
舗装版切断　L=0.0m

D-6路線：市道 緑ヶ丘一丁目12号線（車道部） 1：300

D-6路線：市道（車道部3-4-15）

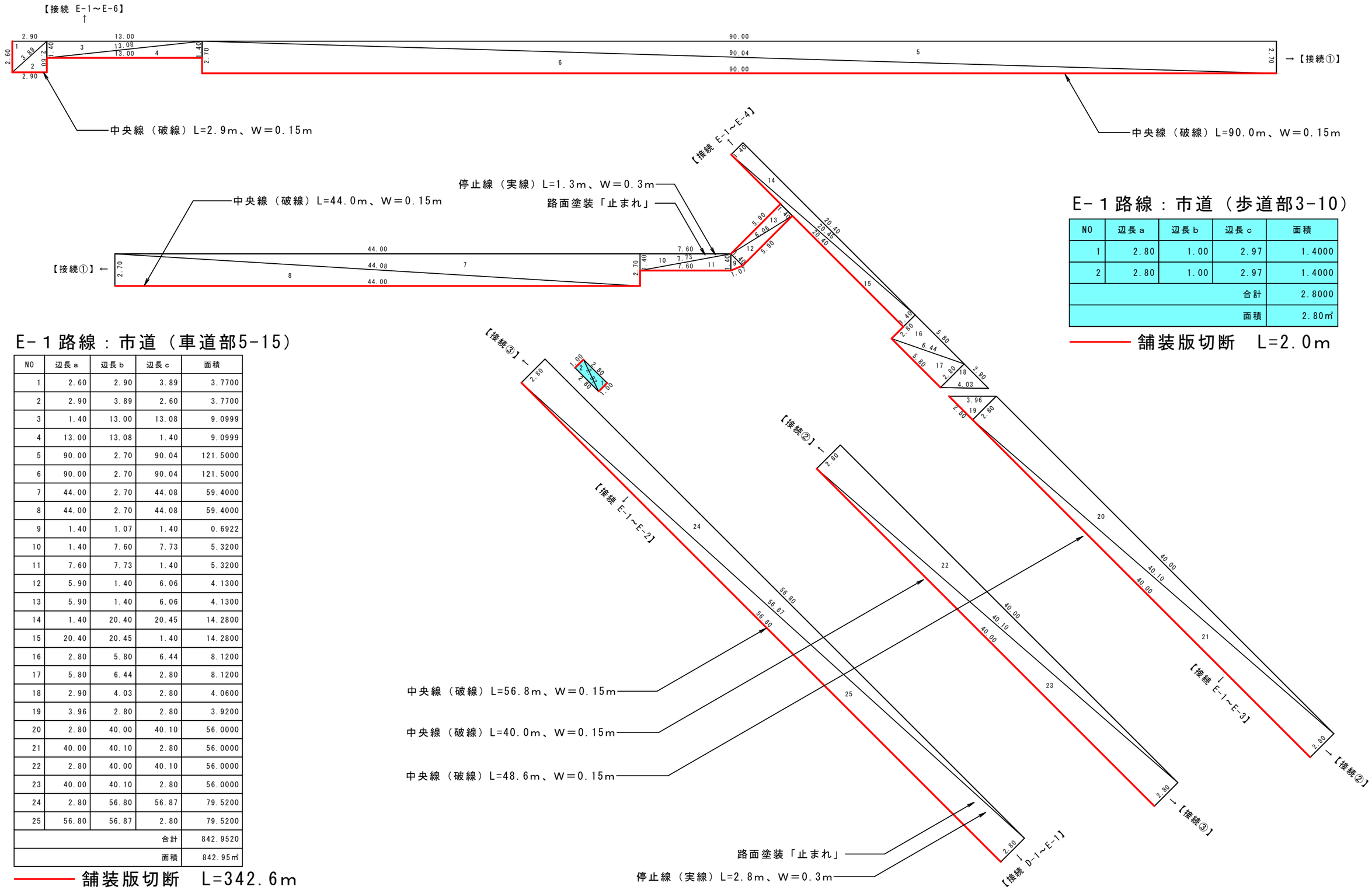
NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	3.60	5.02	3.50	6.3000
2	2.40	6.40	6.84	7.6800
3	6.40	6.84	2.40	7.6800
4	3.32	2.30	2.40	2.7600
5	2.20	2.30	3.18	2.5300
6	13.40	2.30	13.60	15.4100
7	13.40	2.30	13.60	15.4100
8	2.00	91.30	91.32	91.3000
9	91.30	91.32	2.00	91.3000
10	4.10	3.00	5.08	6.1500
			合計	246.5200
			面積	246.52㎡

舗装版切断　L=113.6m



ドットライン（破線）L=5.0m，W＝0.30m

E-１路線：市道 緑ヶ丘二丁目3号線（車道部及び歩道部） １：300



E-１路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	2.60	2.90	3.89	3.7700
2	2.90	3.89	2.60	3.7700
3	1.40	13.00	13.08	9.0999
4	13.00	13.08	1.40	9.0999
5	90.00	2.70	90.04	121.5000
6	90.00	2.70	90.04	121.5000
7	44.00	2.70	44.08	59.4000
8	44.00	2.70	44.08	59.4000
9	1.40	1.07	1.40	0.6922
10	1.40	7.60	7.73	5.3200
11	7.60	7.73	1.40	5.3200
12	5.90	1.40	6.06	4.1300
13	5.90	1.40	6.06	4.1300
14	1.40	20.40	20.45	14.2800
15	20.40	20.45	1.40	14.2800
16	2.80	5.80	6.44	8.1200
17	5.80	6.44	2.80	8.1200
18	2.90	4.03	2.80	4.0600
19	3.96	2.80	2.80	3.9200
20	2.80	40.00	40.10	56.0000
21	40.00	40.10	2.80	56.0000
22	2.80	40.00	40.10	56.0000
23	40.00	40.10	2.80	56.0000
24	2.80	56.80	56.87	79.5200
25	56.80	56.87	2.80	79.5200
			合計	842.9520
			面積	842.95㎡

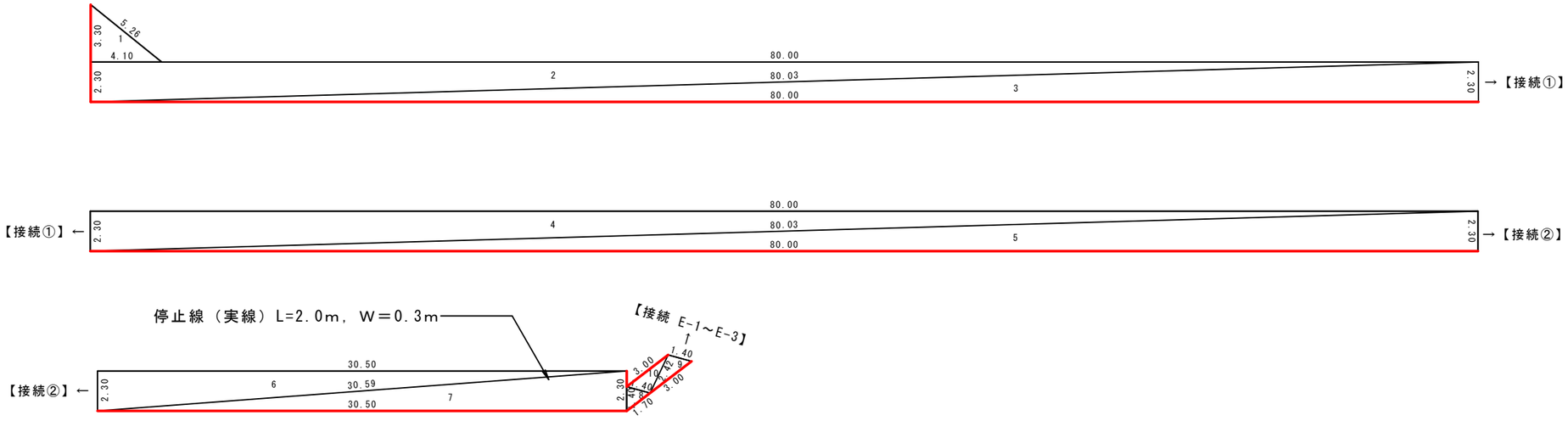
舗装版切断　L=342.6m

E-１路線：市道（歩道部3-10）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	2.80	1.00	2.97	1.4000
2	2.80	1.00	2.97	1.4000
			合計	2.8000
			面積	2.80㎡

舗装版切断　L=2.0m

E-3路線：市道 緑ヶ丘二丁目2号線（車道部） 1：300

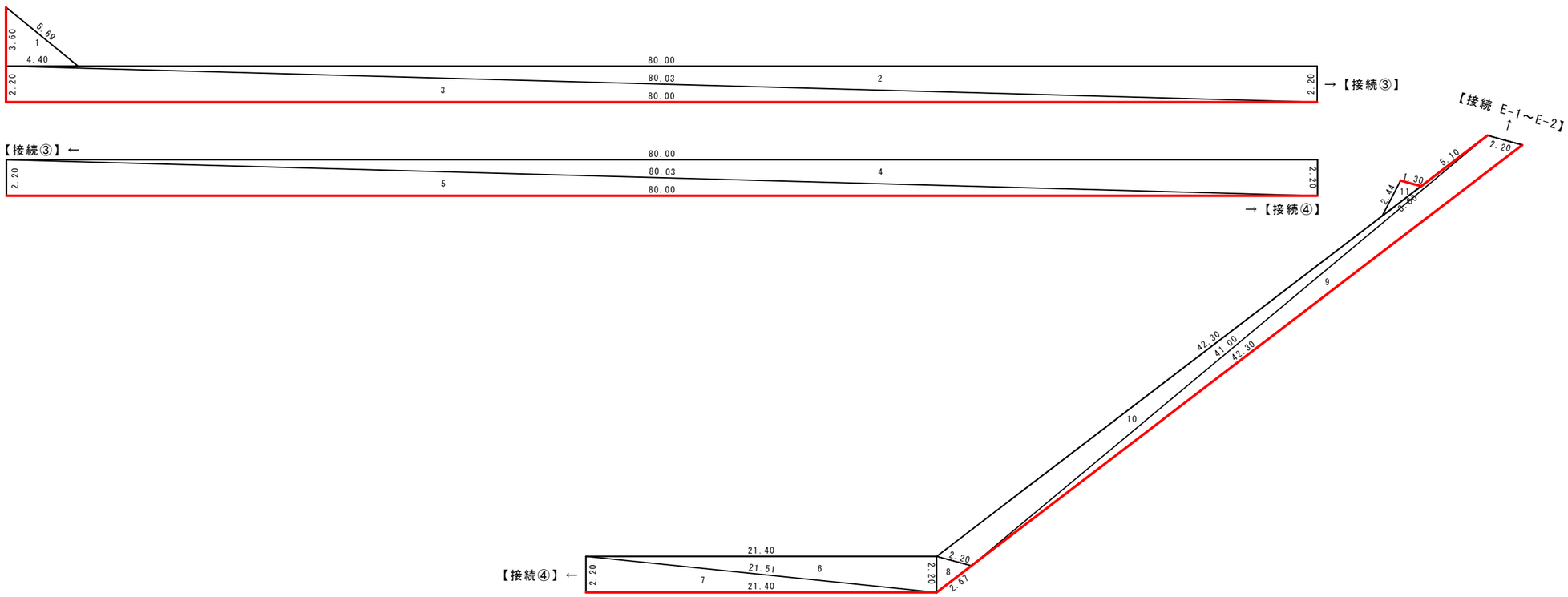


E-3路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	5.26	4.10	3.30	6.7650
2	2.30	80.00	80.03	91.9999
3	80.00	80.03	2.30	91.9999
4	2.30	80.00	80.03	91.9999
5	80.00	80.03	2.30	91.9999
6	2.30	30.50	30.59	35.0750
7	30.50	30.59	2.30	35.0750
8	1.40	1.70	1.40	0.9456
9	1.40	3.00	2.42	1.6680
10	1.40	3.00	2.42	1.6680
			合計	449.1962
			面積	449.20㎡

舗装版切断　L=204.7m

E-2路線：市道 緑ヶ丘二丁目1号線（車道部） 1：300

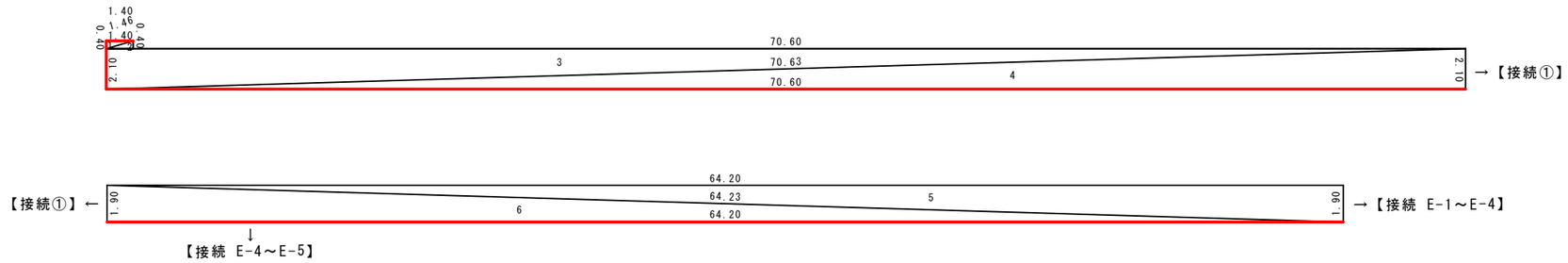


E-2路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	5.69	4.40	3.60	7.9200
2	80.00	2.20	80.03	88.0000
3	80.00	2.20	80.03	88.0000
4	80.00	2.20	80.03	88.0000
5	80.00	2.20	80.03	88.0000
6	21.40	2.20	21.51	23.5400
7	21.40	2.20	21.51	23.5400
8	2.20	2.67	2.20	2.3344
9	2.20	42.30	41.00	36.9478
10	42.30	41.00	2.20	36.9478
11	1.30	3.00	2.44	1.5493
			合計	484.7793
			面積	484.78㎡

舗装版切断　L=238.6m

E-4路線：市道 緑ヶ丘二丁目5号線（車道部） 1：300

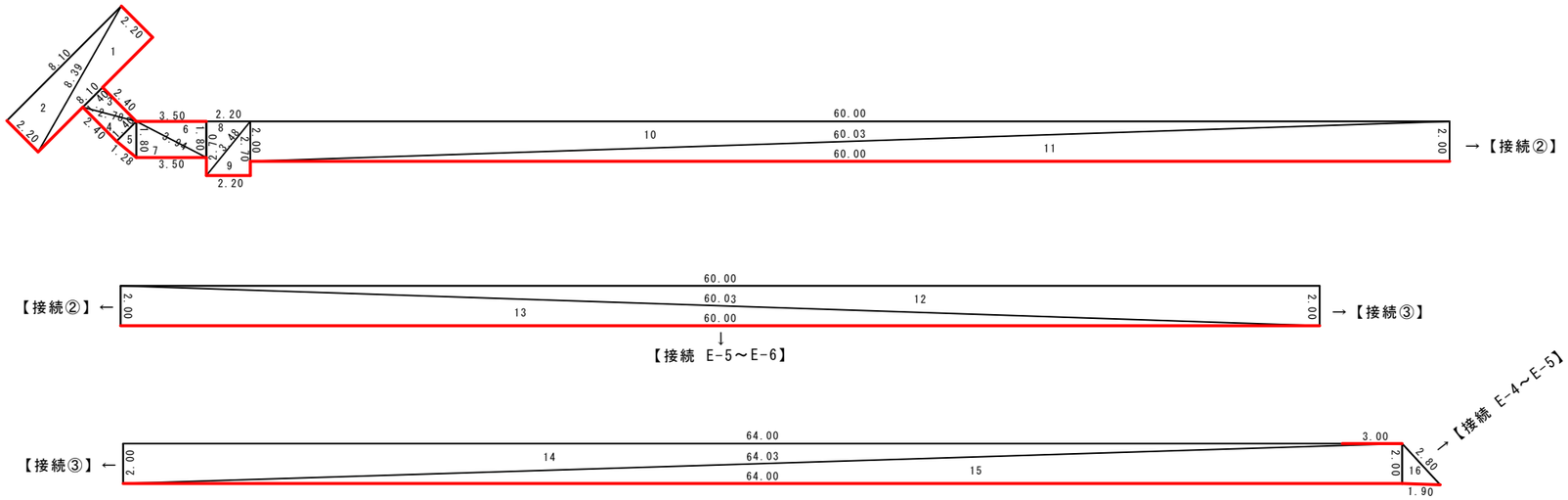


E-4路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	0.40	1.40	1.46	0.2800
2	1.40	1.46	0.40	0.2800
3	2.10	70.60	70.63	74.1300
4	70.60	70.63	2.10	74.1300
5	64.20	1.90	64.23	60.9900
6	64.20	1.90	64.23	60.9900
			合計	270.8000
			面積	270.80㎡

舗装版切断　L＝138.7m

E-5路線：市道 緑ヶ丘二丁目4号線（車道部） 1：300

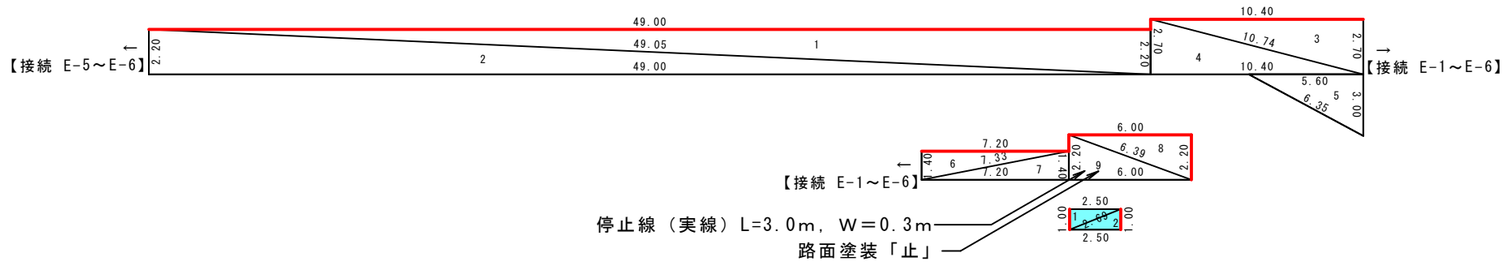


E-5路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	2.20	8.10	8.39	8.9100
2	8.10	8.39	2.20	8.9100
3	1.40	2.40	2.78	1.6800
4	2.40	2.78	1.40	1.6800
5	1.80	1.28	1.40	0.8915
6	3.50	1.80	3.94	3.1500
7	3.50	1.80	3.94	3.1500
8	2.70	2.20	3.48	2.9700
9	2.20	3.48	2.70	2.9700
10	2.00	60.00	60.03	59.9999
11	60.00	60.03	2.00	59.9999
12	60.00	2.00	60.03	59.9999
13	60.00	2.00	60.03	59.9999
14	2.00	64.00	64.03	64.0000
15	64.00	64.03	2.00	64.0000
16	2.80	1.90	2.00	1.8991
			合計	404.2102
			面積	404.21㎡

舗装版切断　L＝213.9m

E-6路線：市道 緑ヶ丘二丁目6号線（車道部及び歩道部） 1：300



E-6路線：市道（車道部5-15）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	49.00	2.20	49.05	53.9000
2	49.00	2.20	49.05	53.9000
3	10.40	2.70	10.74	14.0400
4	10.40	2.70	10.74	14.0400
5	5.60	3.00	6.35	8.4000
6	1.40	7.20	7.33	5.0400
7	7.20	7.33	1.40	5.0400
8	6.00	2.20	6.39	6.6000
9	6.00	2.20	6.39	6.6000
			合計	167.5600
			面積	167.56㎡

舗装版切断　L＝76.1m

E-6路線：市道（歩道部3-10）

NO	辺長ａ	辺長ｂ	辺長ｃ	面積
1	1.00	2.50	2.69	1.2500
2	2.50	2.69	1.00	1.2500
			合計	2.5000
			面積	2.50㎡

舗装版切断　L＝2.0m

令和８年度

水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）

特　記　仕　様　書

庄内広域水道企業団

１．共通仕様書等の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書（土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料）令和8年4月」にもとづき実施しなければならない。

※　共通仕様書の改定内容のホームページへは

県のホームページ（　http://www.pref.yamagata.jp　）

→　組織別ページ

→　県土整備部

→　建設企画課

→　建設工事技術関連情報

→　土木共通仕様書について

２．共通仕様書等に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は以下のとおりとする。

３．明示されない施工条件等について

明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件、明示された条件に変更が生じた場合等について、契約書の関連する条項に基づき甲・乙協議し、または設計変更等適切に対応するものとする。

第１編　共通編

第１章　総　　則

１－１－１　下請負人等の選定

１．受注者は、下請け契約を締結する場合、当該契約の相手方は酒田市内に本社又は営業所等を有する者の中から選定するよう努めなければならない。

２．受注者は、工事材料に係わる納入契約を締結する場合、当該契約の相手方は酒田市内に本社又は営業所等を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は地域・地場で生産及び販売されるものを選定するよう努めなければならない。

１－１－２　工事種別

当該工事の工事種別は、「舗装工事」とする。

１－１－３　舗装技術者の配置

本工事は、共通特記仕様書第１編共通編第１章総則１－１－７舗装技術者の配置の適用対象工事である。

１－１－４　工期

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項・条件を見込んでいる。

①準備期間	３０日間
②後片付け期間	２０日間
③雨休率 ※施工に必要な実日数に対し、休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数	０．９２

１－１－５　受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入等

１．受注者は、次の各号に掲げる届出の義務を履行していない建設業者（建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第２条第３項に規定する建設業者をいう。）（当該届出の義務がない者を除く。以下「社会保険等未加入建設業者」という。）を下請契約（受注者が直接締結する下請契約を除く。以下「二次以降下請契約」という。）の相手方としないよう努めなければならない。

（１）健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務

（２）厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務

（３）雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第７条の規定による届出の義務

２．受注者は、前項にかかわらず社会保険等未加入建設業者を二次以降下請契約の相手方とする場合は、あらかじめ発注者に契約の相手方とする理由を添えて報告しなければならない。

１－１－６　法定外の労災保険の付保

１．本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

２．受注者は、前項の規定により保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示しなければならない。

１－１－７　監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

１．本工事において、建設業法第 26 条第３項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の１）～８）の要件を全て満たさなければならない。

（１）　監理技術者補佐を専任で配置すること。

（２）　監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技　術者補佐の建設業法第 27 条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

（３）　監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。

（４）　同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に２件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。

（５）　特例監理技術者が兼務できる工事は、庄内地区内の工事とする。

（６）　特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。

（７）　特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

（８）　監理技術者補佐が担う業務について明らかにすること。

２．本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、第１項の（１）～（８）の事項について確認できる書類を提出すること。なお、提出書類は、山形県県土整備部建設企画課のホームページを参照のこと。

（https://www.pref.yamagata.jp/180030/kensei/nyuusatsujouhou/nyuusatsujouhou/2nd_chotatsu/nyuusatsujouhou/kn/dl.html ）

山形県県土整備部建設企画課ホームページ 「入札・契約関係様式ダウンロード」

⇒「監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱いについて」

３．本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要しなくなった場合は、適切にコリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録を行うこと。

１－１－８　情報共有システム利用

１．本工事は、情報共有システムの利用対象工事であり、帳票等の処理については、情報共有システムを利用することができる。受注者は、契約締結後に、情報共有システムの利用について、監督職員と協議すること。

２．情報共有システム利用に係る費用は、共通仮設費の率分に含まれるため、登録料及び利用料については、受注者が支払うこと。

３．情報共有システムの利用については、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。

４．情報共有システムの利用要領及び運用ガイドラインについては、山形県のホームページ（https://www.pref.yamagata.jp）から入手できる。

１－１－９　施工箇所が点在する工事の運用

１．本工事は、施工箇所が点在する工事であり、『東町一丁目地内、駅東一丁目地内、大槻新田地内、緑ヶ丘一丁目・二丁目地内（以下「施工箇所」という。）』ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法」による工事である。

２．本工事における共通仮設費の金額は、施工箇所ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。
また、現場管理費の金額も同様に、施工箇所ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。
なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正（施工地域による補正等）については、対象箇所ごとに設定する。一般管理費等については、施工箇所ごとではなく、通常の積算方法により算出する。

１－１－１０　設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集 山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第１章「設計変更ガイドライン」及び第３章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものする。

１－１－１１　官有地（民有地）の使用に関する事項

１．本工事の施工に伴い借地が必要となった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

２．施工ヤードの造成･補修が必要な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

１－１－１２　建設副産物関係

１．本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材、アスファルト・コンクリート塊）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】
規格品の再生クラッシャーラン（RC-40）として再資源化している再資源化施設

【アスファルト・コンクリート塊】
再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設（アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可）

２．建設リサイクル法第６条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。

【アスファルト塊】≪全路線≫
① 受け入れ場所 ： 酒田市下瀬１
② 再資源化施設名 ： 酒井鈴木工業㈱
③ 受け入れ時間帯 ： ８時３０分～１６時３０分

【建設汚泥】≪全路線≫
① 受け入れ場所 ： 庄内町提興屋字中島３８
② 再資源化施設名 ： ㈱安藤組
③ 受け入れ時間帯 ： ８時００分～１７時００分

３．落札者は、契約締結前、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等に変更する場合は、土木工事共通特記仕様書第１編共通編１－１－11 建設副産物第２項で規定する契約前の説明において変更内容の説明を行うものとする。
なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第１項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。
また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

４．受注者は、契約締結後、自らの都合により、建設工事請負契約約款様式第１号の２（解体工事に要する費用等調書）への記載内容と別の方法等に変更する場合には、あらかじめ監督職員へ工事打合簿等で説明を行い承諾を得るものとする。
その後、変更契約を締結する場合には、建設工事請負契約約款様式第８号の２（解体工事に要する費用等調書）へも変更内容を記載しなければならない。
なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第１項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。
また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

５．土木共通特記仕様書第１編共通編１－１－11 建設副産物第４項に規定する再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）作成は、「建設副産物情報交換システムーＣＯＢＲＩＳー」（(財) 日本建設情報総合センター（ＪＡＣＩＣ）Ｗｅｂ版入力システム）により行う。
なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分（技術管理費）に含まれている。

１－１－１３　施工管理

１．主たる工種
（１）本工事における「主たる工種」は下記の工種とし、出来形管理図表（出来形測定結果表及び出来形図）及び品質管理図表のほか、出来形及び品質のばらつきが判断できる資料として、工程能力図又は、度数表（ヒストグラム）を作成し提出するものとする。
なお、受注者が施工管理上必要などこれ以上の作成を妨げるものではない。

【主たる工種】

工　　種	備　　考
舗装工	

（２）「主たる工種」については、関連する共通仕様書等（土木工事施工管理基準及び規格値）の出来形管理基準、品質管理基準に定めのある基準値及び規格値すべてについて工程能力図又は、度数表（ヒストグラム）を作成し、提出することを原則とするが、測定数が５点未満の場合については、監督職員と協議し省略することができるものとする。

１－１－１４　履行報告

受注者は、毎月の履行状況を工事履行報告書（様式第10号の3）により監督職員に提出しなければならない。

１－１－１５　中間前金払

契約約款第３６条第３項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書（様式第１０号の２）に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書（様式第１０号の３）の写しを添えて提出するものとする。

１－１－１６　施工体制台帳

本工事は、共通仕様書 第１編 共通編 １－１－１２ 施工体制台帳に基づく施工体制台帳及び施工体系図の提出対象工事である。

様式－６（１）～（４）。当初提出期限は下請契約締結後７日以内とする。変更があった場合はその都度遅滞なく提出のこと。添付書類は下記のとおりとする。

①下請負人との契約書の写し（契約約款及び契約額の根拠となる見積書等の写しを含む）
②下請負人の建設業の許可書の写し
③技術者証の写し又は技術者資格を有することを証する書面
④技術者の雇用関係を証明できるものの写し
⑤その他、監督職員が指示した書類

１－１－１７　下請状況報告書

本工事は、下請状況報告書の提出対象工事とする。（建設工事請負契約約款第８条請求）報告内容及び提出時期等については、「酒田市建設工事元請下請関係適正化指導要領」に基づき次のとおりとする。

①下請計画報告書（下請業者名及び下請契約の請負代金等）
　提出時期：請負契約約款に基づく「現場代理人等指定（変更）通知書」提出の際提出。変更があった場合はその都度遅滞なく提出のこと。
　添付資料：下請業者一覧表（別紙様式２）、契約書の写し、暴力団排除に係る誓約書
②下請（結果）報告書
　提出時期：請負契約約款に基づく「工事目的物引渡書」提出の際提出。
　添付資料：下請に伴う契約書（変更があった場合は最終のもの）の写し

１－１－１８　工事名標示板に関する事項（安全確保関係）

１．工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。

工 事 の 種 類	道路舗装工事中
工事内容の説明	水道工事の舗装復旧を行っています。

２．本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

１－１－１９　段階確認

共通仕様書 第３編 土木工事共通編 １－１－２ 監督職員による確認及び立会等により指定された工種及び酒田市上下水道事業建設工事監督技術基準の別表１に、次の工種を追加するものとする。

種　別	細　別	確認時期	確認事項
舗装復旧工	不陸整正	不陸整正完了時	幅
舗装復旧工	上・下層路盤	路盤完了時	厚さ、幅、締固め度

段階確認にあたっては、計算書等確認に必要となる資料は事前に監督職員へ提出しておくよう努めるものとする。なお、確認後は確認状況写真及び管理図等を添付のうえ、速やかに監督職員に提出し、段階確認として提出した写真は工事写真に必ずしも添付を要しない。

１－１－２０　交通安全に関する事項（交通安全管理関係）

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。

なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。また、交通誘導員の配置個所等詳細については事前に監督職員と協議しなければならない。工事期間中の交通管理として、次のとおり交通誘導員を計上している。

種　別	位　置	配置人数	時　　間	摘　　要
舗装切断工、その他工種	全路線	３人	8:30～17:00	交代要員含む
区画線工	全路線	２人		

当初設計においての誘導員は１９４人を見込んでいる。
なお、受注者は、工事工程及び通行制限等の形態に応じた交通誘導員の配置人員、延べ人数を施工計画書に明記しなければならない。

１－１－２１　交通規制

１．本工事における現場内の交通規制は次のとおりとする。ただし、施工に伴い変更が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
　　片側交互通行、車輌通行止め

２．本工事の施工において、現場及びその周辺の交通規制を行う場合は、規制前に道路使用許可証（条件書付き）の写しを監督職員に提出すること。また、許可内容を変更した場合も同様とする。

１－１－２２　施工時期、時間、施工方法の制限事項（工程関係）

１．本工事において、他の管理者より特別施設及び施工時間帯等の制約を受けた場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

~~本工事の作業時間帯は、下表に示すとおりとする。~~

~~工種又は種別・細別~~	~~時　　間　　帯~~		~~期　　間~~
	~~作業開始~~	~~作業終了~~	
~~全工種~~	~~　時　分~~	~~　時　分~~	~~交通混雑時の交通影響回避を目的とし、交通に支障のない準備作業等は除く。~~

~~なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して速やかに監督職員と協議しなければならない。~~

２．受注者は、工事の中断期間内は、現場内巡視点検を行い、安全の確保に努めなければならない。

１－１－２３　災害時の協力体制

１．緊急巡回
(1) 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講ずるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
(2) 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について監督職員に報告するものとする。
(3) 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
(4) 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

２．災害時の協力体制と緊急時の諸作業
　　工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

３．緊急巡回及び緊急時の協力体制に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

１－１－２４　設計図書の確認

受注者は、施工計画書の作成及び工事の実施にあたり、事前に監督職員より工事に関する仕様及び添付資料など設計図書の内容について、十分な確認を行わなければならない。

１－１－２５　工事支障物件に関する事項

施工に伴って、支障となる物件が発生した場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

~~１－１－２６　他工事との関連事項~~

~~１．別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。~~

~~工　事　名~~	~~工　　期~~

１－１－２７　事業損失に関する事項（環境対策関係）

１．施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

２．工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

１－１－２８　施工計画書

受注者は、作成した施工計画書の提出にあたっては、監督職員に十分な説明を行わなければならない。なお、修正等の指示がなされた場合は速やかに対処し、必ず当該工事の着手前に説明を行ったうえで提出しなければならない。

１－１－２９　排出ガス対策型建設機械の使用

受注者は、当工事を施工するに当たり、バックホウ、トラクタショベル車輪式、ブルドーザ、発動発電機、舗装機械、杭打関連機械等を使用する場合、排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。また、施工計画書において当該機械の機種名等を明示~~し関係書類を監督職員に提出~~するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用しない場合（出来ない場合も含む）は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得るものとする。

１－１－３０　事故報告

１．受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第１報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書（共通仕様書（参考資料）参考様式5）をFAX、又はE-Mailにより提出しなければならない。

２．報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。

３．工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

県のホームページ (http://www.pref.yamagata.jp)

→　組織別ページ

→　県土整備部

→　建設企画課
→　建設工事技術関連情報
→　土木工事共通仕様書（Ｒ８年４月版）について

１－１－３１　週休２日確保工事

１．本工事は月単位の４週８休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休２日確保工事である。実施にあたっては「山形県県土整備部週休２日確保工事実施要領」に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。

２．発注者は、当初（発注）時において月単位の４週８休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が完全週休２日（土日）を達成した場合、完全週休２日（土日）の補正係数に変更するものとする。なお、現場閉所が月単位の４週８休に満たない場合は、月単位の週休２日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。

３．受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休２日（土日）の週休２日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。

１－１－３２　同時施工箇所について

≪東町一丁目地内、駅東一丁目地内≫において、本工事で施工するが費用については≪道路管理者（酒田市）≫と按分している箇所があるため、該当箇所については別途請求すること。

≪道路管理者（酒田市）≫分は舗装復旧工 A＝約 29.28m2 である。

１－１－３３　賃金又は、物価の変動に基づく請負代金の変更について

今般の急激な物価変動等により、予定価格が実勢と乖離することや工事契約後の想定外の資材高騰等により、円滑な施工に支障が生じるときは、請負代金の変更について協議すること。

１－１－３４　資機材の納期の遅れに基づく工期の変更について

受注者の責によらない事情により資機材の納期が遅れる場合には、工期延長等について協議すること。

第２章　土工

２－１　残土受入地

工事により発生する発生土は、全路線㈲連枝砂利へ運搬するものとし、工事場所からの運搬距離は設計図書に記載の距離を見込んでいる。なお、運搬する前に埋戻し材としての流用の可否について、監督職員の確認・立会を受けること。また、受け入れ条件を事前に確認し、設計図書と相違がある場合は、監督職員と協議することとする。

第２編　材料編

第１章土木工事材料

１－２－１　再生材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材　料　名	規　　格	使　用　箇　所	摘　要
再生アスファルト合材	再生粗粒度 As20	基層（車道）	

再生アスファルト合材	再生細粒度 As13	表層（歩道）	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As13F	表層（車道）	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As20F	表層（車道）	

１．再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破砕、選別、混合物除去、粒度調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料（新材の砕石、ズリ、コンクリートを製造し破砕したもの等）が混合されていない状態のものをいう。
２．下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生砕石（RC-40）は下記の品質基準を満足するものとする。
・修正ＣＢＲ
下層路盤材　修正ＣＢＲ値 40%以上
歩道路盤材　修正ＣＢＲ値 20%以上
・粒度範囲
骨材のふるい分け試験方法 JIS A 1102 により、粒度が土木工事共通仕様書第２編材料編２－３－３表２－４に適合すること。
・塑性指数（下層路盤材の場合のみ）
土の液性限界・塑性限界試験 JIS A 1205 により、塑性指数ＰＩが６以下であること。
・すりへり減量
粗骨材のすりへり減量試験 JIS A 1121 により、すりへり量が 50%以下であること。
・アスファルト塊混入率
再生骨材に含まれるアスファルト塊が 70%以下であること。

１－２－２　溶融スラグを用いたアスファルト合材の指定と品質基準

工事に使用する指定材料の品質規格は下表のとおりとする。

材　料　名	規　格	工　種	適　　用
溶融スラグを用いたアスファルト合材	再生粗粒度 As（20）	舗装工	品質規格は JIS に準じる。
	再生細粒度 As（13）	舗装工	品質規格は JIS に準じる。
	再生密粒度 As（13F）	舗装工	品質規格は JIS に準じる。
	再生密粒度 As（20F）	舗装工	品質規格は JIS に準じる。

1.溶融スラグは「酒田地区広域行政組合」が製造したものを使用することを原則とする。
2.機械施工が可能な規模以上の舗装工事を対象とする。
3.溶融スラグの詳細については「溶融スラグの有効利用に係わるガイドライン（案）」によるものとする。
4.溶融スラグの入荷が困難な場合においては、溶融スラグを混合させない製品の使用について監督職員と協議するものとする。

第３章　一般施工

１－３－１　一般

１．施工に伴い、防塵処理の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
２．タイヤ洗浄施設の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

１－３－２　路面補修等

１．受注者は工事区間内外を問わず機材の運搬等により、路面を損傷した場合には、速やかに路面

補修を行わなければならない。

２．受注者は工事区間内外を問わず機材の運搬又は排水等により、路面又は排水路を汚染した場合には、速やかに清掃を行うこととし、工事完了時に再度清掃の必要性を確認するものとする。

１－３－３　瀝青材料の散布

１．プライムコートの使用量は、1.26ℓ/㎡を標準とする。

２．タックコートの使用量は、0.43ℓ/㎡を標準とする。

１－３－４　舗装版切断工

１．舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機等により回収するものとし、その費用については、設計図書に含まれる。

回収した排水については、監督職員と協議の上、処理するものとし、処理に関する運搬費及び処分費などの必要と認められる費用については、設計変更の対象とする。

また、受注者は、排水処理に係る産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに監督職員に提示しなければならない。

山形県県土整備部週休２日確保工事実施要領

（趣旨）

第１条　この要領は、建設業における働き方改革に資する取組として、山形県県土整備部及び各総合支庁建設部が発注する建設工事（営繕工事は除く。）の工事現場において、週休２日確保工事を実施するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

（１）　週休２日確保工事

本要領に基づき週休２日の確保に取り組む工事をいい、通期の４週８休以上を必須とする。

（２）　発注者指定型

現場閉所又は交替制により週休２日の確保に取り組むことを発注者が指定する形式をいう。

（３）　週休２日

①　完全週休２日（土日）とは、対象期間の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、月曜日から日曜日までを基本とする１週間に２日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

ただし、悪天候等、受注者の責によらず、やむを得ず平日に現場閉所し土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を同一の週で指定するものとする。

また、夜間工事は曜日を跨ぐため、週７回の夜間のうち、土曜日から日曜日へ跨ぐ夜間、日曜日から月曜日へ跨ぐ夜間で現場閉所が行っていれば、完全週休２日（土日）を達成しているとみなす。

なお、土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。

②　完全週休２日（交替制）とは、交替制において、対象期間の全ての週において、技術者及び技能労働者が交替しながら、１週間に２日間以上の休日を確保したと認められる状態をいう。

夜間工事は曜日を跨ぐため、週７回の夜間のうち、週２回の夜間で休みを取得していれば、完全週休２日を達成しているとみなす

③　月単位の週休２日とは、対象期間において、全ての月で４週８休以上の現場閉所又は交替制を行ったと認められる状態をいう。

④　通期の週休２日とは、対象期間において、４週８休以上の現場閉所又は交替制を行ったと認められる状態をいう。

（４）　対象期間

工事の準備期間及び後片付け期間を除く施工開始日から施工終了日までの期間をいう。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施して

いる期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責めによらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

（５）　４週８休以上

①　月単位の４週８休以上とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所率又は休日率の割合が、28.5%（８日／28 日）以上の状態をいう。

ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では 28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、４週８休（28.5%）以上を達成しているものとみなす。

②　通期の４週８休以上とは、対象期間内の現場閉所率または休日率が、28.5%（８日／28 日）以上の状態をいう。

（６）　現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

（７）　現場閉所率

対象期間内の現場閉所日数の割合をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所に含めるものとする。

（８）　交替制

現場に従事する技術者及び技能労働者が交替で休日を確保することをいう。

（９）　休日率

対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日数の割合をいう。

（対象工事及び発注方式）

第３条　山形県県土整備部及び各総合支庁建設部が発注する全ての工事を週休２日確保工事の対象とし、発注者指定型で発注するものとする。ただし、次に該当する工事は除くものとする。

・緊急を要する工事（災害復旧工事は含まない）

２　連続施工せざるを得ない工事は交替制で発注するものとする。

（現場閉所による週休２日確保工事の取扱い等）

第４条　発注者は、当初（発注）時において、月単位の４週８休以上を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。

２　発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が発注者指定型による月単位の週休２日確保工事である旨を記載する。

３　受注者は、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、月単位の週休２日又は完全週休２日（土日）を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。なお、完全週休２日（土日）において、あらかじめやむを得ないと認められる場合は、土曜日、日曜日以外の日を現場閉所日に設定できるものとする。

4　受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休２日（土日）の週休２日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。

5　受注者は、週休２日の達成を理由に工期の延長変更を請求することはできないが、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、建設工事請負契約約款22条の規定により、工期の延長変更を請求するものとする。

6　受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた現場閉所日に作業を行う場合は、振替現場閉所日を設定し、事前に発注者に届出するものとする。なお、完全週休２日（土日）においては土曜日、日曜日以外の日を振替現場閉所日に設定できるものとする。

7　受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を現場閉所とした場合は、当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとし、後日速やかに発注者に届出するものとする。なお、完全週休２日（土日）においても当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとする。

8　完全週休２日（土日）の取り組みにあたっては、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、土日に代わる現場閉所日を指定するものとしている。ただし、災害対応等で土日に代わる代替日の設定が困難であり、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、現場閉所による週休２日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定する。

9　災害対応等でやむを得ず現場閉所による週休２日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉所による週休２日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休２日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。

10　受注者は、当初予定していた現場閉所日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、現場閉所日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。

11　受注者は、工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、現場閉所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿で実施状況を協議すること。協議にあたっては、次の各号に掲げる書類を提示しなければならない。

（１）　振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料

（２）　現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類

12　発注者は、変更（精算時）の積算において、現場閉所が完全週休２日（土日）を達成した場合、完全週休２日（土日）の補正係数に変更するものとする。

　また、現場閉所が月単位の４週８休に満たない場合は、月単位の週休２日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。

13　発注者は、現場閉所状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。

14　発注者は、月単位の４週８休以上又は完全週休２日（土日）の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休２日確保工事実施証明書」を発行する

ものとする。

（交替制による週休２日確保工事の取扱い等）

第４条の２　発注者は、当初（発注）時において、月単位の４週８休以上の交替制を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。

２　発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が交替制による月単位の週休２日確保工事である旨を記載するものとする。

３　受注者は契約締結後、施工計画書提出前に、週休２日確保工事（月単位または完全週休２日（交替制））について協議を行うものとする。

４　施工体制台帳に記載されている元請及び下請の技術者及び技能労働者を交替制の対象者とする。ただし、次の各号に該当する者は除くものとする。

（１）　非常勤の者（臨時で従事する者）

（２）　現場作業日数が５日未満の者

５　受注者は、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、対象者の氏名、対象期間の日数及び月単位の週休２日又は完全週休２日（交替制）を確保する休日（予定）を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。

６　受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休２日（交替制）の週休２日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。

７　受注者は、週休２日の達成を理由に工期の延長変更を請求することはできないが、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、建設工事請負契約約款 22 条の規定により、工期の延長変更を請求するものとする。

８　受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた休日に作業を行う場合は、振替休日を設定するものとする。

９　受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を休日とした場合は、当該作業予定日を休日に振り替えることができるものとする。

10　受注者の責によらず交替制による週休２日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して交替制による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、交替制による週休２日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定し、必要最小限の期間とする。

11　受注者は、当初予定していた休日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、休日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。

12　受注者は、工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、休日率を記載した工事打合簿で実施状況を協議すること。協議にあたっては、現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の休日状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類を提示しなければならない。

13　発注者は、変更（精算時）の積算において、完全週休２日（交替制）を達成した

場合、完全週休２日（交替制）の補正係数に変更するものとする。

また、月単位の４週８休以上の交替制に満たない場合は、月単位の週休２日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。

14　発注者は、現場に従事した技術者及び技能労働者の休日確保状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。

15　発注者は、週休２日確保工事において月単位の４週８休以上又は完全週休２日の交替制を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休２日確保工事実施証明書」を発行するものとする。

（その他）

第５条　工事費の積算については別紙１に基づくものとする。

２　工事成績評定については別紙２に基づくものとする。

３　週休２日確保工事における工期の考え方は、別紙３に基づくものとする。

（アンケートの実施）

第６条　受注者は、週休２日確保工事の実施の有無にかかわらず、発注者がアンケートを行う場合は協力するものとする。

附　則

この要領は、令和５年７月１日から施行する。

附　則

この要領は、令和６年４月１日から施行する。

附　則

この要領は、令和６年 10 月１日から施行する。

附　則

この要領は、令和７年 10 月１日から施行する。

別紙１

週休２日確保工事における工事費の積算について

〔発注者指定型〕

１　積算方法等

対象期間内の現場の閉所状況に応じて、各経費を補正するものとする。

（１）現場の閉所状況

現場の閉所状況は、次のとおりとする。

①　完全週休２日（土日）

対象期間内の全ての週で土日に現場閉所されている場合。

②　月単位の週休２日（４週８休以上）

対象期間内の全ての月で現場閉所率が 28.5%（８日／28 日）以上の場合。

暦上の土曜日・日曜日の閉所では 28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、４週８休（28.5%以上）を達成しているものとみなす。

$$\text{現場閉所率} = \frac{\text{対象期間内の現場閉所日数}}{\text{対象期間の日数}} \ (\%)$$

（２）補正方法

積算方法毎に対象期間内の現場の閉所状況に応じて次のとおり補正を行う。

① 積上げ積算方式及び施工パッケージ型積算方式

各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。

経費名	補正係数	
	月単位の週休２日	完全週休２日（土日）
労務費	１．０２	１．０２
共通仮設費率	１．０１	１．０２
現場管理費率	１．０２	１．０３

② 市場単価方式

各工種に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休２日	完全週休２日（土日）
鉄筋工		１．０２	１．０２
ガス圧接工		１．０１	１．０１

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休２日	完全週休２日（土日）
インターロッキング工	設置	１．０１	１．０１
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工（ガードレール）	設置	１．００	１．００
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	１．００	１．００
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	１．０２	１．０２
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工（落石防護柵）		１．０１	１．０１
防護柵設置工（落石防止網）		１．０１	１．０１
道路標識設置工	設置	１．００	１．００
	撤去・移設	１．０１	１．０１
道路付属物設置工	設置	１．０１	１．０１
	撤去	１．０２	１．０２
法面工		１．０１	１．０１
吹付法枠工		１．０１	１．０１
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		１．０１	１．０１
道路植栽工		１．０２	１．０２
公園植栽工		１．０２	１．０２
橋梁用伸縮継手装置設置工		１．０１	１．０１
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		１．０２	１．０２
橋面防水工		１．０１	１．０１
薄層カラー舗装工		１．００	１．００
グルービング工		１．００	１．００
軟弱地盤処理工		１．０１	１．０１
コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）		１．０１	１．０１

③ 土木工事標準単価方式

各工種に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休２日	完全週休２日（土日）
区画線工		１．０２	１．０２
高視認性区画線工		１．０２	１．０２
橋梁塗装工		１．０１	１．０１
構造物とりこわし工	機械	１．０１	１．０１
	人力	１．０２	１．０２
コンクリートブロック積工		１．０２	１．０２

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日	完全週休２日 （土日）
排水構造物工		１．０２	１．０２
鋼製排水溝設置工		１．０２	１．０２
表面被覆工 （コンクリート保護塗装）	固定足場	１．０１	１．０１
	高所作業車	１．０１	１．０１
表面含浸工	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
連続繊維シート補強工	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
剥落防止工 （アラミドメッシュ）	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
漏水対策材設置工	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
防草シート設置工		１．０１	１．０１
紫外線硬化型 FRP シート設置工 （ポリエステル樹脂）	固定足場	１．０１	１．０１
	高所作業車	１．０１	１．０１
塗膜除去工		１．０２	１．０２
バキュームブラスト工		１．０１	１．０１
道路反射鏡設置工	設置	１．００	１．００
	撤去	１．０２	１．０２
仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）		１．０２	１．０２
機械式継手工		１．０２	１．０２
抵抗板付鋼製杭基礎工		１．０１	１．０１
ノンコーキング式コンクリート ひび割れ誘発目地設置工		１．０１	１．０１
FRP 製格子状パネル設置工		１．００	１．００
侵食防止用植生マット工（養生マット工）		１．０２	１．０２
支承金属容射工		１．０２	１．０２
耐圧ポリエチレンリブ管 （ハウエル管）設置工		１．０２	１．０２
フレア溶接工		１．０２	１．０２
Ｈ型ボラード設置工		１．０１	１．０１
橋梁用水切り材設置工	固定足場	１．０２	１．０２
	作業車	１．０２	１．０２

２　当初（発注）時の積算

月単位の４週８休以上を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算する。

３　変更（精算）時の積算

変更（清算）時に工事費を積算することを基本とするが、閉所状況を確認でき次第、積算できるものとする。

現場閉所が完全週休２日（土日）を達成した場合、完全週休２日（土日）の補正係数に変更するものとする。現場閉所が月単位の４週８休に満たない場合、月単位の週休２日の補正係数を除して、工事費を積算する。

〔発注者指定型（交替制）〕

１　積算方法等

対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の休日率の状況に応じて、各経費を補正するものとする。

（１）技術者及び技能労働者の休日率の状況

技術者及び技能労働者の休日率の状況は、次のとおりとする。

①　完全週休２日（交替制）

対象期間内の全ての週で休日率が 28.5%（２日／７日）以上の場合

②　月単位の週休２日（４週８休以上）

対象期間内の全ての月で休日率が 28.5%（８日／28 日）以上の場合

（２）休日率の計算

①対象者毎の休日率の計算

対象者毎に休日率を計算する。

なお、下請負人の場合は、下請負契約上の契約工期内とする。

$$\text{対象者の休日率} = \frac{\text{対象期間内の休日日数}}{\text{対象期間の日数}} \ (\%)$$

②工事全体での休日率の計算

①により求めた対象者毎の休日率を平均し、工事全体の休日率を計算する。

③中抜け期間の除外

以下の期間は、中抜け期間として対象期間の日数から除外する。

・他工事に従事している期間
・断続的な作業期間の間の期間
・長期休業等により出勤できない期間

（３）補正方法

対象期間内に従事した技術者及び技能労働者の休日率の状況に応じて次のとおり補正を行う。

①　積上げ積算方式及び施工パッケージ型積算方式

各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。

経費名	補正係数	
	月単位の週休２日 （交替制）	完全週休２日 （交替制）
労務費	１．０２	１．０２
現場管理費率	１．０２	１．０３

② 市場単価方式

各工種に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日 （交替制）	完全 週休２日 （交替制）
鉄筋工		１．０２	１．０２
ガス圧接工		１．０１	１．０１
インターロッキング工	設置	１．０１	１．０１
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工 （ガードレール）	設置	１．００	１．００
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工 （ガードパイプ）	設置	１．００	１．００
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工 （横断・転落防止柵）	設置	１．０２	１．０２
	撤去	１．０２	１．０２
防護柵設置工（落石防護柵）		１．０１	１．０１
防護柵設置工（落石防止網）		１．０１	１．０１
道路標識設置工	設置	１．００	１．００
	撤去・移設	１．０１	１．０１
道路付属物設置工	設置	１．０１	１．０１
	撤去	１．０２	１．０２
法面工		１．０１	１．０１
吹付法枠工		１．０１	１．０１
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		１．０１	１．０１
道路植栽工		１．０２	１．０２
公園植栽工		１．０２	１．０２
橋梁用伸縮継手装置設置工		１．０１	１．０１
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		１．０２	１．０２
橋面防水工		１．０１	１．０１
薄層カラー舗装工		１．００	１．００
グルービング工		１．００	１．００
軟弱地盤処理工		１．０１	１．０１
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		１．０１	１．０１

③ 土木工事標準単価方式

各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休２日（交替制）	完全週休２日（交替制）
区画線工		１．０２	１．０２
高視認性区画線工		１．０２	１．０２
橋梁塗装工		１．０１	１．０１
構造物とりこわし工	機械	１．０１	１．０１
	人力	１．０２	１．０２
コンクリートブロック積工		１．０２	１．０２
排水構造物工		１．０２	１．０２
鋼製排水溝設置工		１．０２	１．０２
表面被覆工（コンクリート保護塗装）	固定足場	１．０１	１．０１
	高所作業車	１．０１	１．０１
表面含浸工	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
連続繊維シート補強工	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
剥落防止工（アラミドメッシュ）	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
漏水対策材設置工	固定足場	１．０２	１．０２
	高所作業車	１．０２	１．０２
防草シート設置工		１．０１	１．０１
紫外線硬化型 FRP シート設置工（ポリエステル樹脂）	固定足場	１．０１	１．０１
	高所作業車	１．０１	１．０１
塗膜除去工		１．０２	１．０２
バキュームブラスト工		１．０１	１．０１
道路反射鏡設置工	設置	１．００	１．００
	撤去	１．０２	１．０２
仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）		１．０２	１．０２
機械式継手工		１．０２	１．０２
抵抗板付鋼製杭基礎工		１．０１	１．０１
ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘発目地設置工		１．０１	１．０１
FRP 製格子状パネル設置工		１．００	１．００
侵食防止用植生マット工（養生マット工）		１．０２	１．０２
支承金属容射工		１．０２	１．０２
耐圧ポリエチレンリブ管（ハウエル管）設置工		１．０２	１．０２
フレア溶接工		１．０２	１．０２
Ｈ型ボラード設置工		１．０１	１．０１

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日 （交替制）	完全週休 ２日 （交替制）
橋梁用水切り材設置工	固定足場	１．０２	１．０２
	作業車	１．０２	１．０２

２　当初（発注）時の積算

月単位の４週８休以上を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算する。

３　変更（精算）時の積算

変更（清算）時に工事費を積算することを基本とするが、休日率の状況を確認でき次第、積算できるものとする。

完全週休２日（交替制）を達成した場合、完全週休２日（交替制）の補正係数に変更するものとする。休日率が月単位の４週８休に満たない場合、月単位の週休２日の補正係数を除して、工事費を積算する。

別紙２

週休２日確保工事における工事成績評定の取扱いについて

１　方針

週休２日確保工事を実施した工事について、現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況に応じて工事成績評定における評価を行う。

発注者指定型の形式で発注された工事で４週８休以上の現場閉所が確保されなかった場合であっても工事成績評定の減点は行わない。

２　評価方法

（１）監督員の２．施工状況「Ⅱ．工程管理」において、次のとおり評価を行う。

①　現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が月単位の４週８休以上、又は完全週休２日（土日又は交替制）の場合（次の２項目を評価）

・「休日の確保を行っている。」

・「その他（完全週休２日（土日又は交替制）を実施している。）」

②　現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が通期の４週８休以上の場合（次の１項目を評価）

・「休日の確保を行っている。」

（２）監督員の５．創意工夫［働き方改革］において、次のとおり評価を行う。

現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が通期の４週８休以上の場合

・「週休２日（４週８休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。」

※週休２日の確保自体を評価するのではなく、他の模範となるような、週休２日確保に向けた受注企業の取組（社員教育や情報共有方法等）を当該工事で実施した場合に評価する。

（３）総括監督員の２．施工状況「Ⅱ．工程管理」において、次のとおり評価を行う。

現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が通期の４週８休以上の場合

・「工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。」

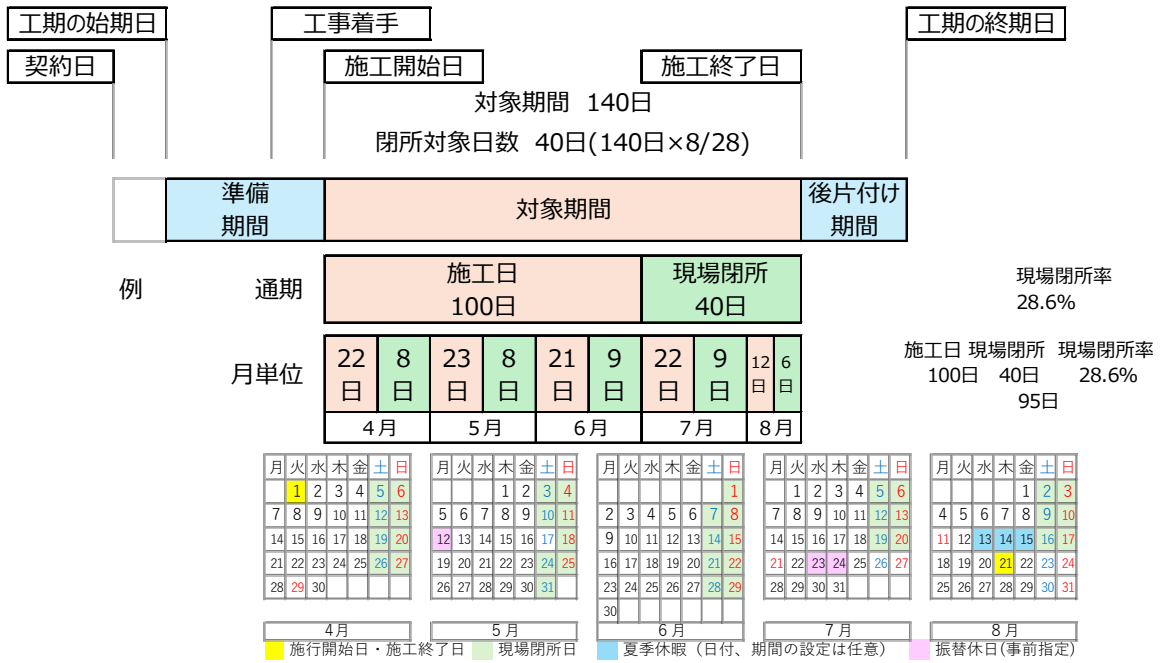
・「現場閉所（交替制）による週休２日（４週８休以上）を行った。」

※週休２日の確保を行った場合は、２項目両方を評価することとし、この「工程管理」の評価は、原則”ａ”評価（２点）とする。ただし、他の事項で著しく低く評価する内容が確認される場合は、”ａ”評価としないことができる。

別紙３

週休２日確保工事における工期の考え方について

週休２日を確保するイメージ
（発注者指定型）



※上図では対象期間内の現場閉所日数が 40 日以上となれば「通期」の４週８休以上。
かつ、月ごとに現場閉所率が 8/28=28.5%以上であれば、「月単位」の４週８休以上。

（１）発注者が設定する「準備期間」と「後片付け期間」の日数を特記仕様書に記載する。

（２）「準備期間」とは、施工に先立って行う、労務、資機材の調達、調査、測量、設計照査、現場事務所の設置等の期間をいい、「工期の始期日」から「施工開始日」までの期間をいう。

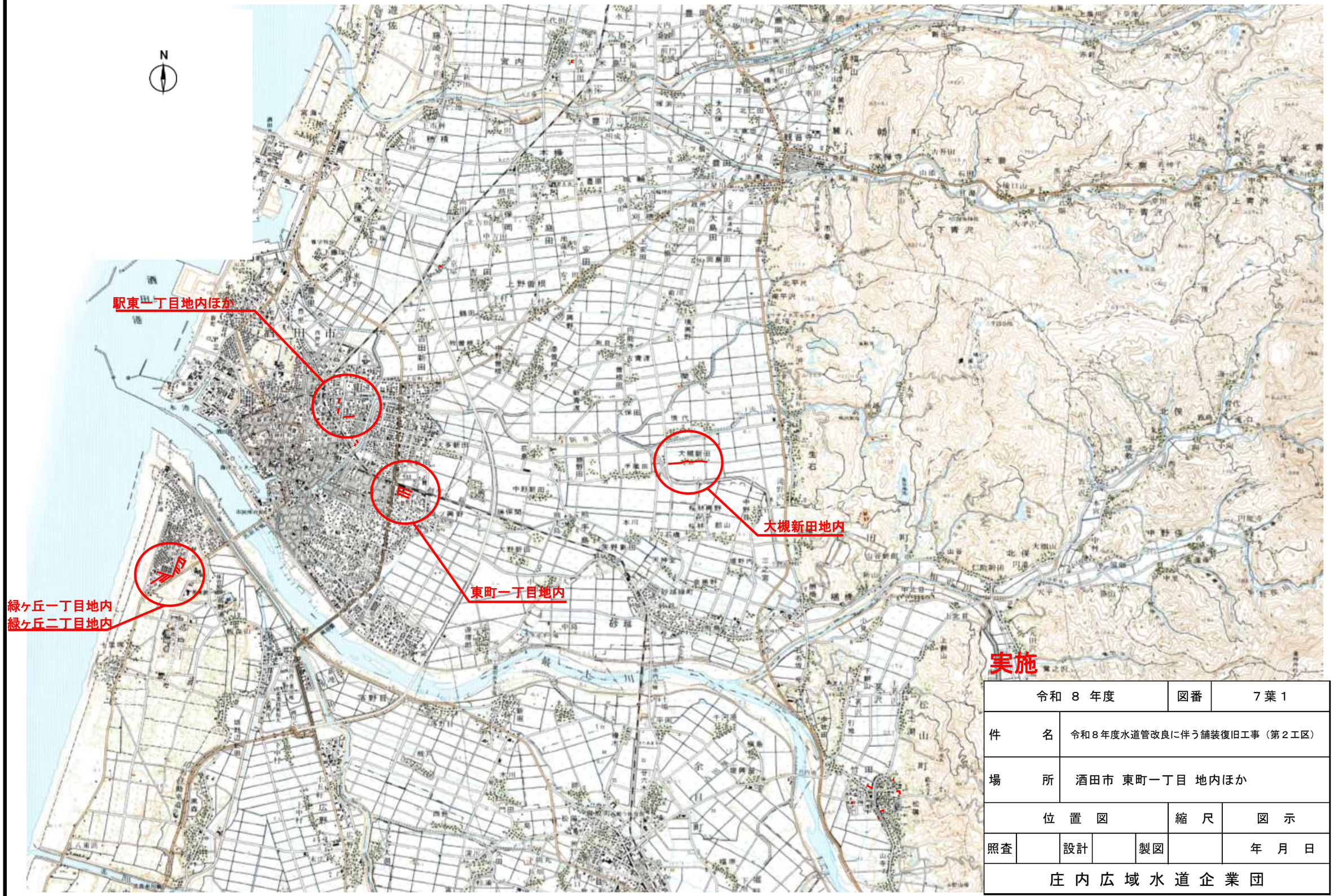
（３）「施工開始日」とは、本体工事（工事目的物を施工するための工事）や仮設工事（工事の施工及び完成に必要とされる各種の仮工事）を着手する日をいう。

（４）「対象期間」とは、「準備期間」及び「後片付け期間」を除く「施工開始日」から「施工終了日」までの期間をいう。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責めによらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

（５）「施工終了日」とは、現場での施工が終了した日をいう。ただし、「施工終了日」から「工期の終期日」までの日数が、特記仕様書に記載している「後片付け期間」の日数を下回った場合は、特記仕様書の日数から設定される「施工終了日」を優先するものとする。

（６）後片付け期間とは、工事の完成に際して、受注者の機器、余剰資材、残骸及び各種の仮設物を片付けかつ撤去し、現場及び工事にかかる部分の清掃等に要する期間をいう。

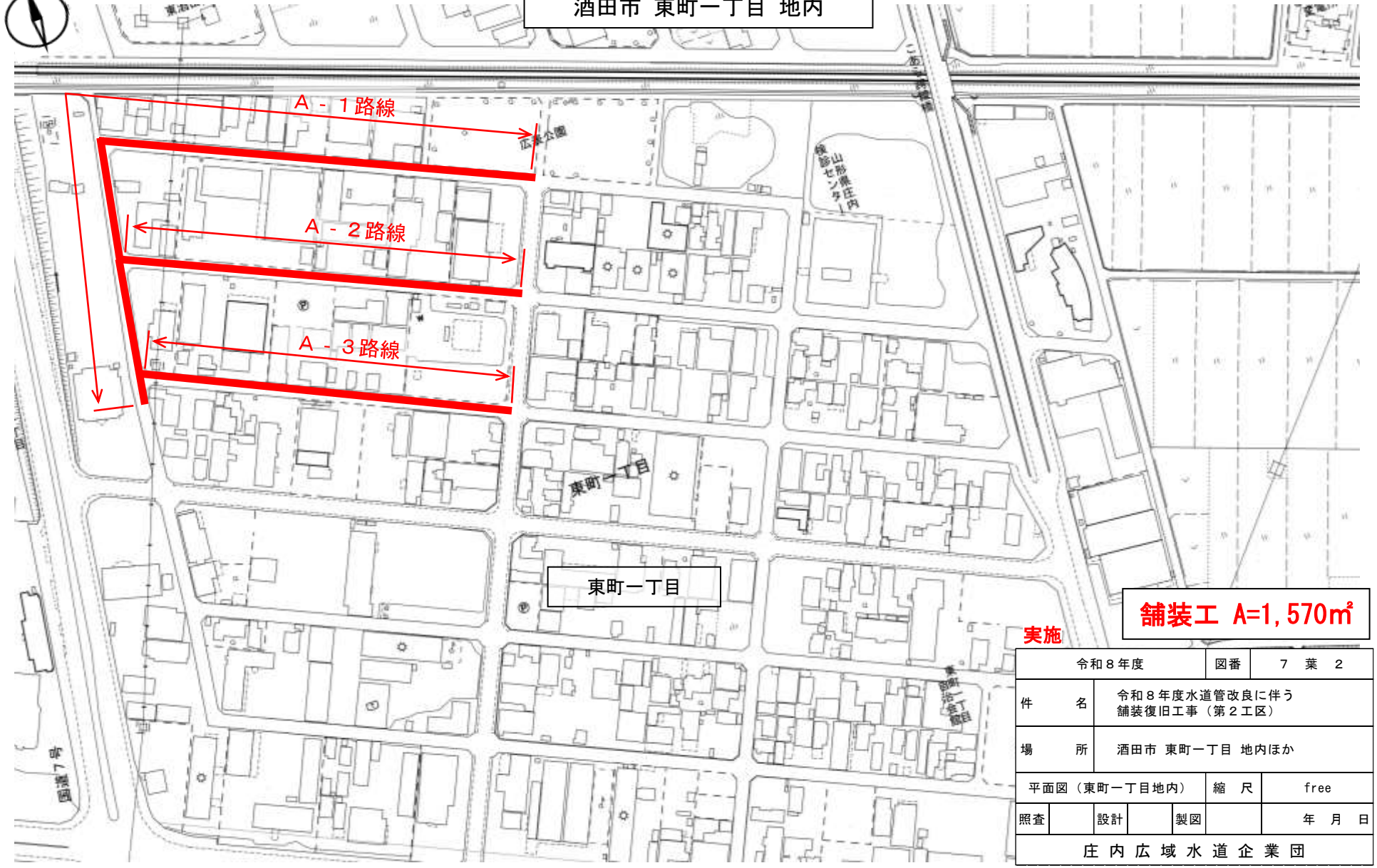
位　置　図　　（縮尺　１／５０，０００　）



令和　８　年度			図番	７葉１
件　　名	令和８年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）			
場　　所	酒田市　東町一丁目　地内ほか			
位　置　図			縮　尺	図　示
照査	設計	製図		年　月　日
庄内広域水道企業団				

令和８年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）

酒田市 東町一丁目 地内

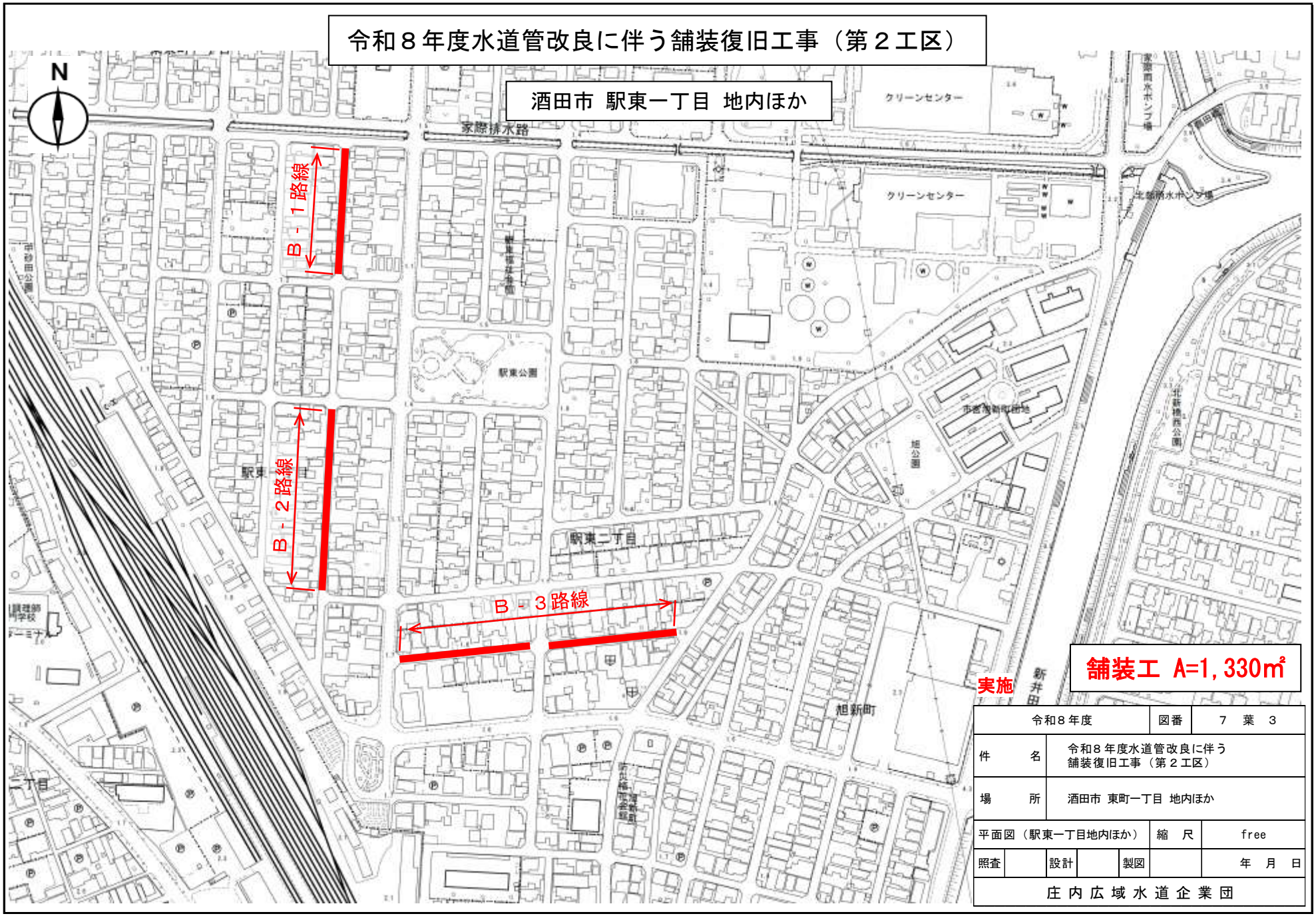


舗装工 A=1,570㎡

実施

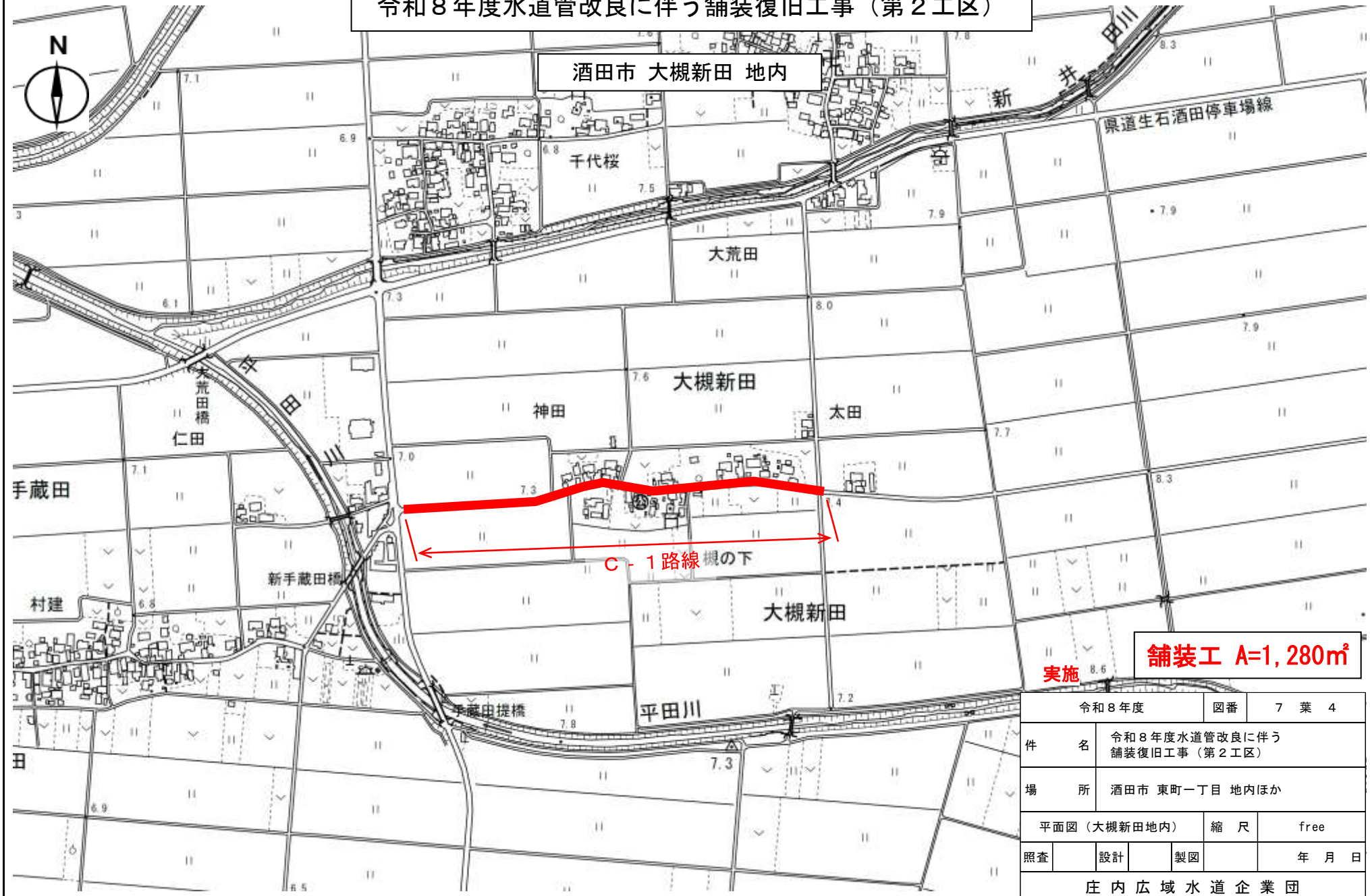
令和８年度				図番	７ 葉 ２
件 名	令和８年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）				
場 所	酒田市 東町一丁目 地内ほか				
平面図（東町一丁目地内）				縮 尺	free
照査		設計		製図	年 月 日
庄 内 広 域 水 道 企 業 団					

令和８年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）



令和８年度				図番	７ 葉 ３
件 名	令和８年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事（第２工区）				
場 所	酒田市 東町一丁目 地内ほか				
平面図（駅東一丁目地内ほか）				縮 尺	free
照査		設計		製図	年 月 日
庄内広域水道企業団					

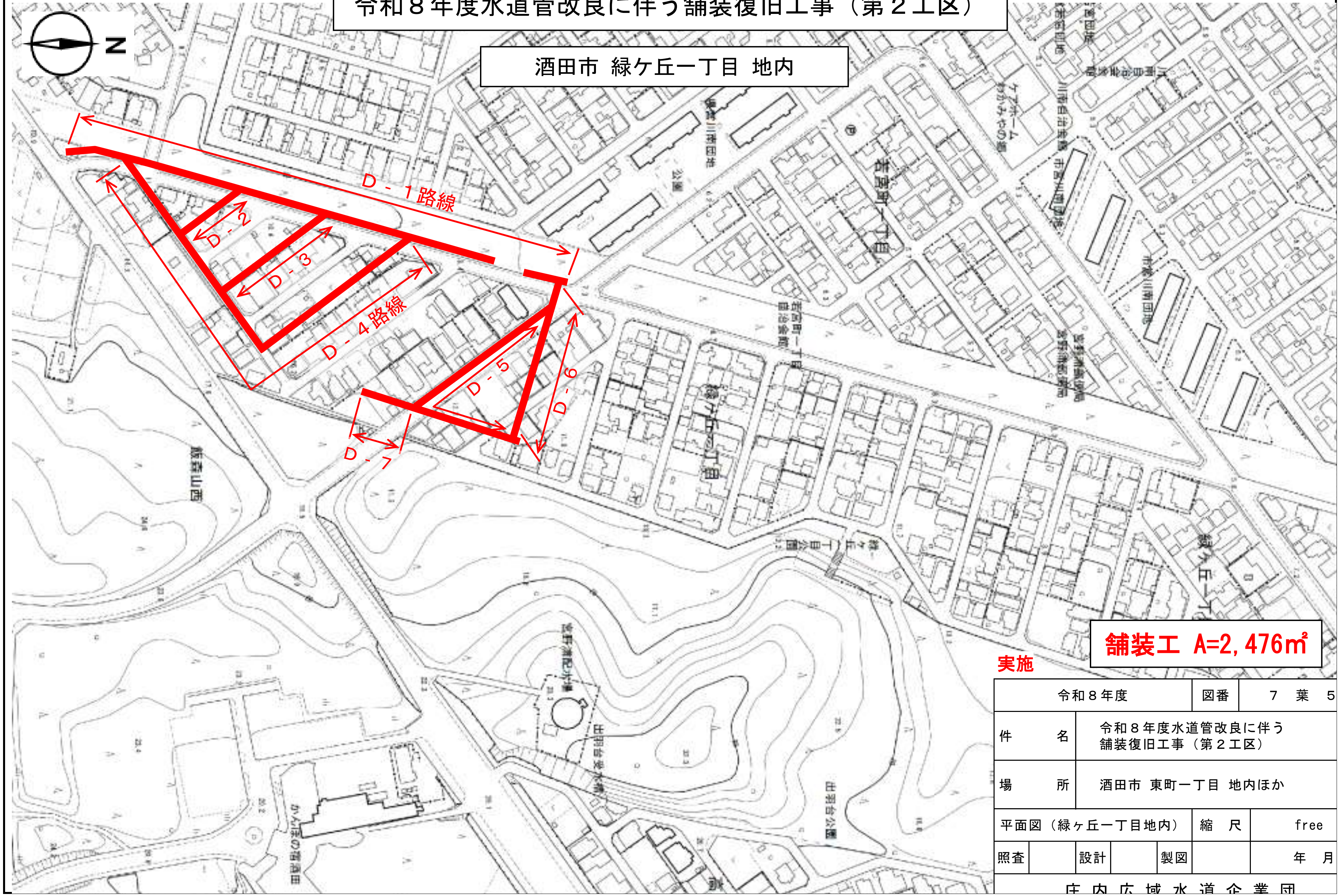
令和８年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）



令和８年度			図番	７ 葉 ４	
件 名	令和８年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事（第２工区）				
場 所	酒田市 東町一丁目 地内ほか				
平面図（大槻新田地内）			縮 尺	free	
照査		設計		製図	年 月 日
庄 内 広 域 水 道 企 業 団					

令和８年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）

酒田市　緑ケ丘一丁目　地内



舗装工　A=2,476㎡

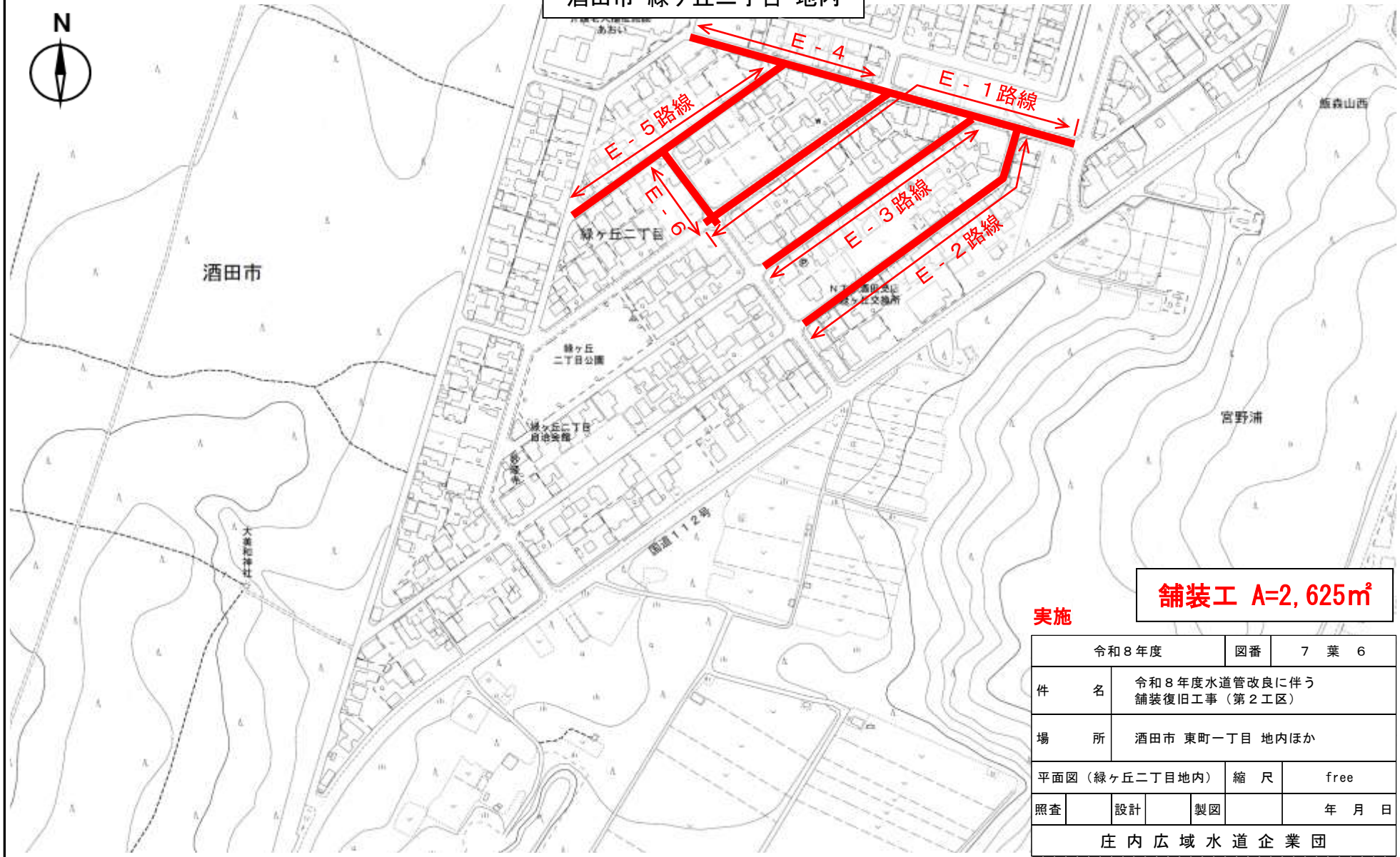
実施

令和８年度		図番		７　葉　５		
件　　名	令和８年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事（第２工区）					
場　　所	酒田市　東町一丁目　地内ほか					
平面図（緑ヶ丘一丁目地内）		縮　尺		free		
照査		設計		製図		年　月

庄内広域水道企業団

令和８年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第２工区）

酒田市 緑ケ丘二丁目 地内



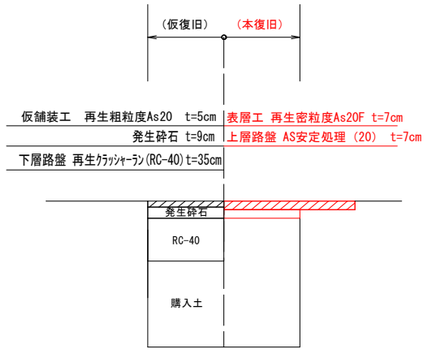
舗装工 A=2,625㎡

実施

令和８年度				図番	７ 葉 ６
件 名	令和８年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事（第２工区）				
場 所	酒田市 東町一丁目 地内ほか				
平面図（緑ケ丘二丁目地内）				縮 尺	free
照査		設計		製図	年 月 日
庄 内 広 域 水 道 企 業 団					

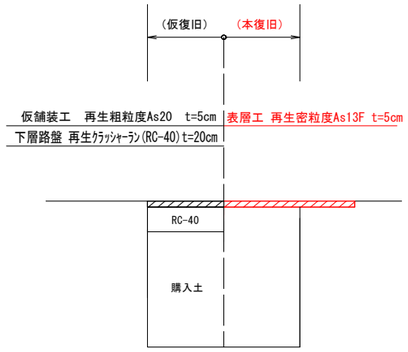
東町一丁目地内
A-1～A3路線

市道・車道（3-4-7-35）



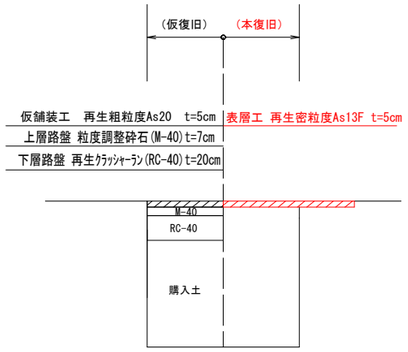
駅東一丁目地内ほか
B-1～B3路線

市道・車道（5-20）



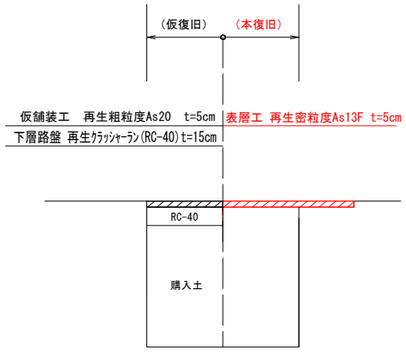
大槻新田地内
C-1路線

市道・車道（5-7-20）



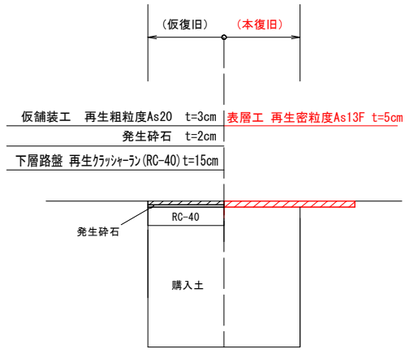
緑ヶ丘一丁目地内
D-1路線

市道・車道（5-15）



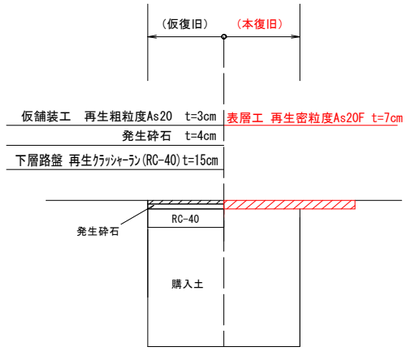
緑ヶ丘一丁目地内
D-2～D-5路線

市道・車道（5-15）



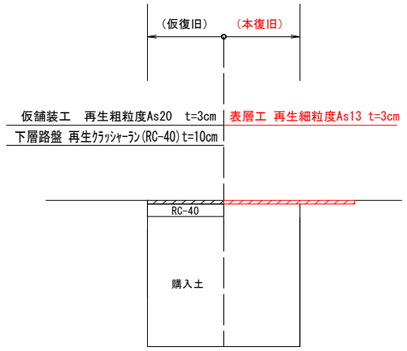
緑ヶ丘一丁目地内
D-6路線

市道・車道（3-4-15）



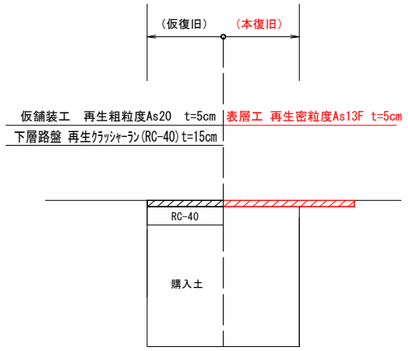
緑ヶ丘一丁目地内
D-7路線

市道・歩道（3-10）



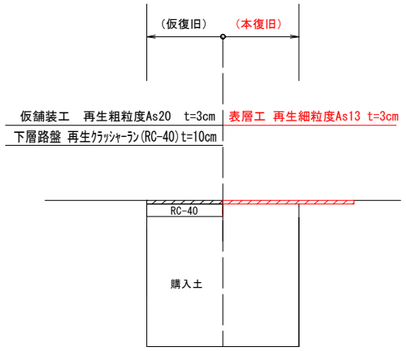
緑ヶ丘二丁目地内
E-1～E-6路線

市道・車道（5-15）



緑ヶ丘二丁目地内
E-1・E-6路線

市道・歩道（3-10）



実　施

令和８年度		図番	７　葉　７
工事名	令和８年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事（第２工区）		
場　所	酒田市東町一丁目地内ほか		
舗装復旧断面図		縮尺	Ｓ＝FREE
庄内広域水道企業団			